

ノートパソコン ユーザーズマニュアル

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、サードウェーブ製ノートパソコン全般における基本的な接続・セットアップ方法を、簡単に分かりやすくご案内しております。

本製品をご利用になる前に必ずお読みください。

また、よくご質問を受けるトラブルの対応方法を記載しております。

故障かなと思われたとき、ご活用ください。



GALLERIA

Diginnos
raytrek

セットアップ手順	4
安全のために	5
“困った”を未然に防いでパソコンを快適に使用するために	15
健康のために	17
箱の中身を確認する	18
プロダクトキーについて	19
電源を入れる・電源を切る	21
Windows のセットアップ	23
キーボード・タッチパッドの使い方	30
画面解像度の設定	39
周辺機器の接続	40
インターネット接続	41
無線 LAN の設定および使用方法	45
光学ドライブへの書き込み方法	48
バックアップ方法	49
復元方法	51
Windows の初期化方法	54
Windows の再インストール	58
Windows のスタートアップ修復	59

※ 本書に掲載している画面やイラストはイメージです。実際の製品や画面とは異なる場合があります。

回復ドライブを作成する / 使用する	61
困ったときは	63
パソコントラブル解決手順	66
パソコントラブル FAQ (BIOS[UEFI] ～ Windows 起動前)	71
パソコントラブル FAQ (Windows 起動後)	72
パソコントラブル FAQ (ハードウェア)	73
パソコントラブル FAQ (その他)	75
改善のための操作方法	76
サードウェーブサポートセンターよりお客様へ	78
パソコンのリユースについて	79
パソコンのリサイクルについて	80
パソコンに記憶されているデータについて	81
パソコン保証規約	82
修理依頼書	83
修理依頼方法	84
サポートのご案内	86

セットアップ手順

1

安全のために

5 ページ

- 安全に正しくお使いいただくためにご確認ください

2

“困った”を未然に防いで、パソコンを快適に使用するために

15 ページ

- パソコンをお使いいただくうえでトラブルを未然に防ぐための諸注意をご確認ください

3

箱の中身を確認する

18 ページ

- 付属品等がそろっているかご確認ください

4

電源を入れる

21 ページ

- ディスプレイ・本体・周辺機器の電源を入れて起動します

5

Windows の起動

セットアップの完了です

表記の意味

■ 記載内容を守っていただけない場合に生じる、危害や損害の程度を表します。



警告

お取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。



注意

お取り扱いを誤った場合、人が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容を示します。

■ 安全に使用いただくための禁止事項を、下記のマークで表しています。



一般禁止

禁止する行為を示します。



ぬれて禁止

ぬれた手で製品を扱うと感電する可能性を示します。



分解禁止

分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示します。



水ぬれ禁止

水がかかる場所で使用したり、漏電によって感電や発火の可能性を示します。



接触禁止

特定の場所に触れることで傷害が起こる可能性を示します。

■ 安全にご使用いただくための、注意事項を下記のマークで表しています。



感電注意

特定の条件により、感電する可能性を示します。



ケガ注意

特定の条件により、ケガの可能性を示します。



発火注意

特定の条件により、発火の可能性を示します。



高温注意

特定の条件により、高温による傷害の可能性を示します。

■ 安全にご使用いただくための、指示事項を下記のマークで表しています。



使用者に対して強制する行為を指示します。



使用者に対して電源プラグをコンセントから抜くように指示します。

安全にご利用いただくために

パソコンは、安全にご利用いただけるよう、各規格に準拠したパーツにて製造されております。しかし、接続や使用方法が正しくないと、火災や感電などの事故を引き起こすことがあり危険です。事故を防ぐために、記載事項を必ずお守りください。

定期的に点検する

パソコンは精密機器ですので、ケース内にホコリがたまると誤作動の原因となります。ケースファンにホコリが付着すると冷却性能低下によるトラブルが発生しますので、定期的に点検・清掃をしてください。

故障した場合

パソコンを使用していて何らかの問題に気付いたときは [63 ページ「困ったときは」](#) を参考に解決を試みてください。

問題が解決できない場合は、お買い上げの店舗か、サードウェーブサポートセンターにご相談ください。

万一、異常が起きたら

**異音・異臭・煙が出たら
即、ご使用をお止めください。**

直ちに使用を中止し、電源を切り電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

お買い上げの店舗、もしくはサードウェーブサポートセンターに点検・修理をご依頼ください。



使用環境



パソコンの設置場所および使用環境について、以下の条件でご使用ください。この条件以外でパソコンを使用すると、火災などの事故や、パソコンが破損する、起動しなくなるなどのトラブルの原因となります。

次のような場所が設置に適しています。

- ・室内
- ・温度 10℃～35℃
- ・湿度 20%～80%（結露しないこと）
- ・人体より 20 cm 以上離れた場所

充電すると、バッテリー・本体が熱を持つことがあります。

特に、充電しながらインターネット、ゲーム、通話などをすると、充電・放電が同時に行われることでバッテリーに大きな負担がかかります。その結果、バッテリーから出る熱が増加するだけでなく、バッテリーの劣化が進む原因にもなりますので、充電しながらの利用は控えください。

また、充電中に、意図せずアプリが起動中のままになっていることもあります。稼働中のアプリをこまめに終了させましょう。



極端に温度が低い室内で電源を入れるとパソコンが起動しないことがあります。そのような場合は一度電源を切り、室内の温度を上げて 2 時間ほど放置してから電源を入れ直してください。急激な温度の変化で内部に結露が生じ、部品がショートして故障の原因となるのを防ぎます。

設置場所の警告・注意



警告



水槽の近くや水場のそばなど
湿気の多い場所には置かないでください

水がかかると、火災や感電の原因となります。



湿気や油煙の多い場所に置かないでください

火災や感電の原因となります。



幼児の手の届く場所に置かないでください

ディスクの挿入口に手を挟まれるなど
思わぬけがの原因となります。



⚠ 注意



家電製品のそばや

磁気を発生する物の近くで使用しないでください

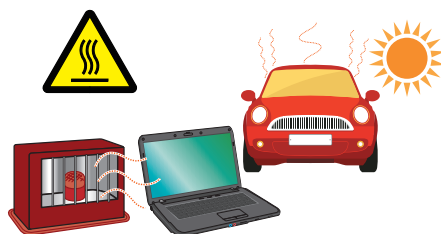
異常動作の原因となりますので 30cm 以上離して設置してください。



直射日光のあたる車の中やストーブの近くなど

熱くなる場所には置かないでください

変色、変形等の劣化の原因となります。
内部温度が熱くなり故障やリチウムイオン
バッテリーの劣化に伴う膨張などの原因となります。



ノートパソコンを

布団やじゅうたんのの上に置かないでください

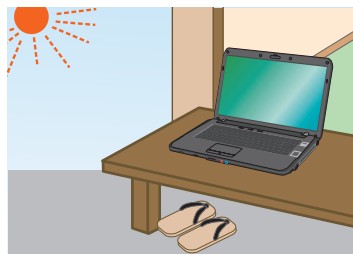
柔らかい物の上に置くと、側面や底面の通風口をふさいだり、
熱が逃げずに本体内部温度が上昇してパソコンの誤作動や故
障の原因となります。机などの上に置いてご使用ください。



屋外やホコリの多いところには

置かないでください

火災や感電の原因となります。



不安定な場所に置かないでください

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけ
がの原因となります。また、置き場所、取り付け場所の強度も
十分に確認してください。



本体使用上の警告・注意

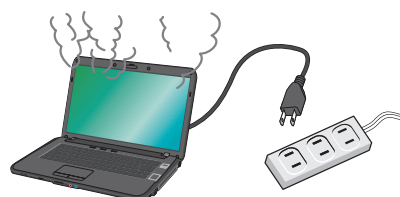
警告



「異音がする」「焼けたような匂いがする」 「ケーブルやコネクタが異常発熱している」などの場合

直ちに使用を中止し、電源を切り、電源ケーブルや接続ケーブルを抜き、バッテリーを取り外してください。
そのまま使用されると、火災や感電の原因となります。

その後の処置は、お買い上げの店舗または
サードウェアサポートセンターまでご相談ください。



内部に水や異物を入れないでください

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万が一入り込んだ場合は、すぐに電源を切り電源ケーブルや
接続ケーブルを抜き、バッテリーを取り外してください。

その後の処置は、お買い上げの店舗または
サードウェアサポートセンターまでご相談ください。



パソコンが変形していたり、 亀裂などの破損箇所がある場合は使用しないでください

破損があるパソコンを使用すると、火災や感電の原因となります。その場合は
直ちに使用を中止し、電源を切り電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

その後の処理は、お買い上げの店舗または
サードウェアサポートセンターまでご相談ください。



改造しないでください

パーツの分解や改造をしないでください。
火災や感電、けがの原因となります。
また改造した場合、保証期間内でもサポートの対象外となります。



アダプターや周辺機器などを接続する際はコネクタの向きを確認し 変形や破損がないかもあわせてご確認ください

- ・コネクタの向きを間違えて接続すると、変形や破損の原因となります。
- ・変形や破損したコネクタを接続すると火災・感電の原因となります。

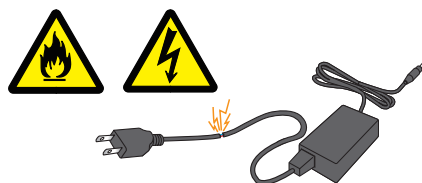




電源ケーブルを傷つけないでください

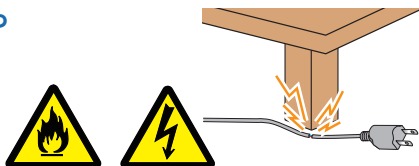
電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 重い物を乗せたり、引っ張ったりしない
- 熱器具に近づけない、加熱しない
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜く



アダプターや周辺機器などを接続したケーブルやコネクタに無理な力を加えないでください

ケーブルやコネクタに無理な力が加わると、変形や破損による火災や感電の原因となります。



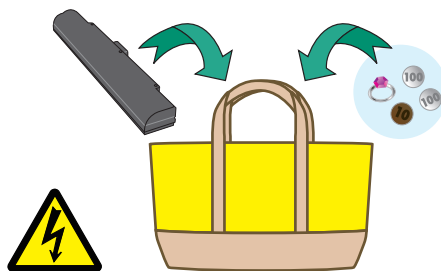
電源プラグや各種コネクタ、周辺機器などを挿したまま移動させないでください

ケーブルやコネクタ等が破損・変形することによる、火災や感電の原因となります。



バッテリーを金属の小物（鍵や装飾品、コイン等）と一緒にカバンにいれないでください

端子がショートして破損や感電、火災の原因となります。



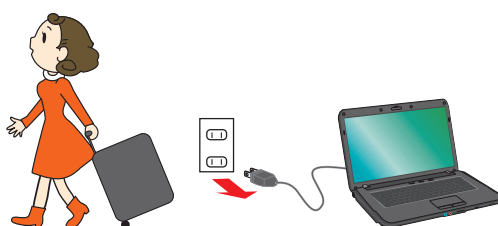
ぬれた手で電源プラグに触らないでください

感電の原因となります。



長期間使用しない場合はコンセントを抜いてください

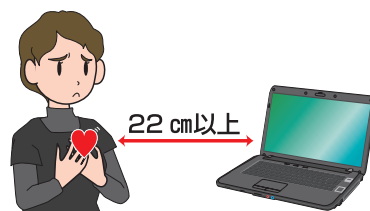
火災の原因となります。





無線 LAN を使用する時は、心臓ペースメーカーの近くで使用しないでください

無線 LAN の電波により、心臓ペースメーカーが誤動作し事故の原因となります。22cm 以上離してご使用ください。



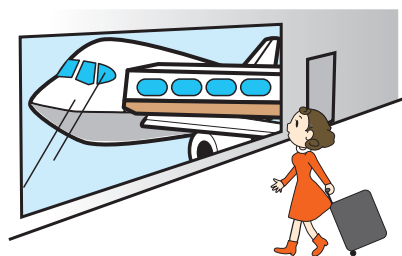
病院や混雑した場所（満員電車など）では無線 LAN を使用しないでください

無線 LAN の電波により、心臓ペースメーカーや医療用電子機器が誤動作し、事故の原因となります。



飛行機に乗る際は、無線 LAN は OFF にしてください

飛行機内で無線 LAN のスイッチを入れること、及び離着陸時のパソコンの使用は、航空法違反となり処罰される場合があります。一部使用許可のある航空会社・航空機もございます。



パソコンに飲み物や食べ物などをこぼさないようにしてください

液体が内部に入ると火災や感電の原因となります。



雷が鳴り始めたら、パソコンを終了してコンセントや LAN ケーブルを抜いてください

落雷により感電したり、故障の原因となります。



⚠ 注意



ノートパソコンや
アダプター、バッテリーに衝撃を与えないでください

破損や故障の原因となります。



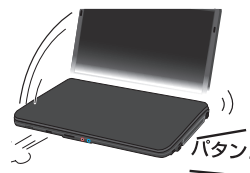
液晶ディスプレイと
キーボードの間に物をはさんで閉じないでください

液晶ディスプレイの破損の原因となります。



液晶ディスプレイを乱暴に開閉しないでください

破損や故障の原因となります。



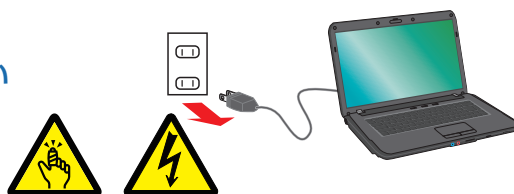
製品に付属する AC アダプターを他の製品に使用しないでください

製品に付属する AC アダプターは本製品専用です。



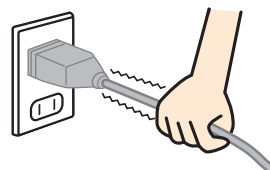
電源プラグを接続したまま、本体内に
手や物、工具などを入れないでください

作業時に感電・けが、破損の原因となります。



ケーブルのコネクタを抜くときはケーブルを持たずに
必ずコネクタ部分を持つようにしてください

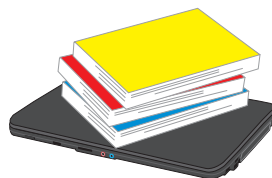
ケーブルを直接引っ張ってコネクタを抜くと、ケーブル断線などの故障の原因となります。取り外すときは必ずコネクタ部分を持つようにしてください。





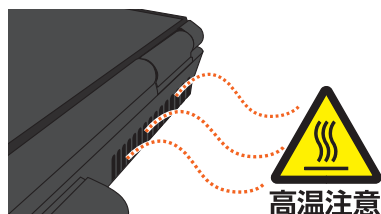
ノートパソコンの上に重い物を乗せないでください

破損や故障の原因となります。



排気口やその周辺は高温になりますので 触ったり近くに物を置かないでください

本体側面にある排気口やその周辺は熱くなります。
長時間直接触れていると低温やけどを起こす原因となります。
また、熱に弱いプラスチックやゴム製品をそばに置いて
おくと、変形したり破損する場合があります。



長時間にわたり ひざの上に置いて使用しないでください

本機底面や通風口周辺は熱くなることがあり、
長時間触れていると低温やけどを起こす場合があります。



長時間使用する場合は 必ず途中で休憩を取るようにしてください

肩こり、腰痛、目の疲れ、腱鞘炎などの原因となります。



長時間の使用などにより、身体に違和感や痛みを 感じた場合は直ちに使用を中止してください

使用を中止しても改善しない場合は直ちに医師に相談してください。



リチウムイオンバッテリー関連の警告・注意



警告



**本製品を高温になる場所、
熱源のそばに放置しないでください**

本製品を自動車のダッシュボードや窓際など直射日光の当たる場所、炎天下駐車の内車など、高い温度になる場所に放置しないでください。リチウムイオンバッテリーを液もれさせる原因になるおそれがあります。本製品をストーブなどの熱源のそばに放置しないでください。リチウムイオンバッテリーの発熱、破裂、発火の原因になります。



本製品を濡らさないでください

本製品を水、海水、ジュースなどの液体で濡らさないでください。本製品に組み込まれている保護回路が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムイオンバッテリーが充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。



本製品を火中に投入しないでください

本製品を火の中に投入しないでください。絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構を損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因になります。



必ず同梱の AC アダプターで充電してください

同梱の AC アダプター以外で充電すると、充電条件が異なるため、発熱、破裂、発火の原因になります。



本製品を高温になる場所で充電しないでください

本製品を自動車のダッシュボードや窓際など直射日光が当たる場所、炎天下駐車の内車、炬燵、布団の中など、高い温度になる場所で充電しないでください。高温になると危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。





本製品に強い衝撃を加えないでください

本製品に高所からの落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウムイオンバッテリーが変形したり、リチウムイオンバッテリーに組み込まれている保護機構が壊れ、異常な電流、電圧で充電される可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。



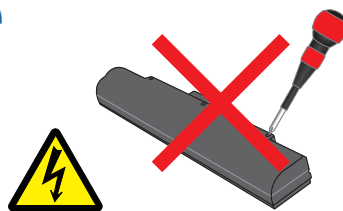
バッテリー駆動時間が短くなった場合は バッテリーの交換時期です

バッテリー駆動時間が短くなったバッテリー（フルに充電しても、仕様の3割以下しか駆動できないバッテリー）は、障害が発生する場合がありますので、使用を中止し、お買い上げの店舗またはサードウェーブサポートセンターまでご相談ください。バッテリー駆動時間が短くなったバッテリーをそのまま使い続けると、発熱、破裂、発火の原因となります。本製品が、内蔵バッテリーの膨らみによる故障の場合は、保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。



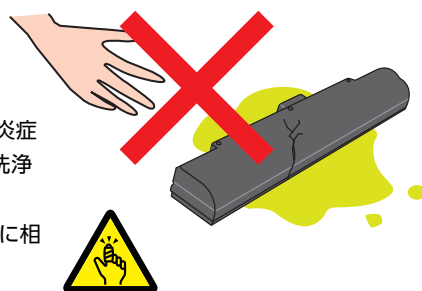
バッテリーパックを分解または改造しないでください

バッテリーパックの分解・改造は
破損や感電・けがの原因となります。



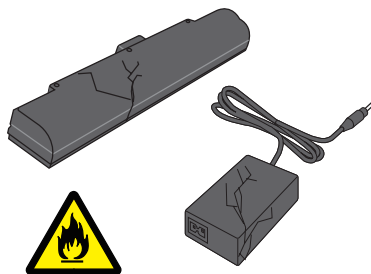
バッテリーから液が漏れた場合は 液に触らないでください

バッテリーから漏れた液に触れてしまった場合、皮膚がかぶれたり炎症を起こす原因となります。触ってしまった場合は流水で15分以上洗浄してください。
また、目に入った場合は流水で15分以上洗浄した後、直ちに医師に相談してください。



アダプターやバッテリーが割れたり 傷ついている場合は使用しないでください

破損や感電、火災の原因となります。



パソコンやパソコンの周辺を清潔に保つ

空気中のチリやホコリは精密機器であるパソコンの大敵です。パソコンやパソコン周辺を常に清潔に保つよう心掛けましょう。定期的にパソコンのお手入れを行うと、快適でより長くパソコンをご利用いただけます。



ワンポイント

ご自身でパソコンの内部を触った経験がない方は、ドスpara全店及びサードウェーブサポートセンターで有償クリーニングいたします。

詳しくは下記の URL、近隣のドスparaまたはサードウェーブサポートセンターにご確認ください

<http://www.dospara.co.jp/cln>

正しい方法で電源を切る

やむを得ない理由を除き、電源スイッチを押して**強制的にパソコンの電源を切ったり、リセットスイッチを押して再起動**することはおやめください。パソコンが故障したり、正常に動作しないなどのトラブルを引き起こす原因となります。



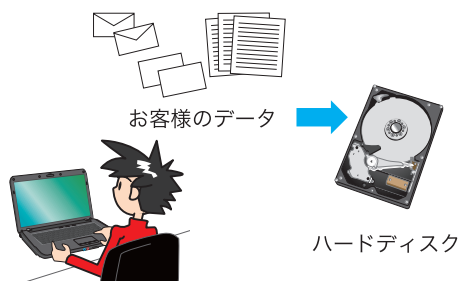
パソコン使用時の飲食、喫煙は避ける

飲食しながらパソコンを使用すると、**食べ物や飲み物**がかかり、パソコンを故障させる原因となります。また、**タバコの煙や灰**は精密機械であるパソコンにとって大敵ですのでご注意ください。



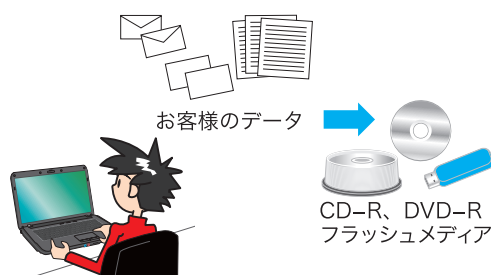
作業中はこまめにデータを保存する

「パソコンが突然フリーズ（停止）して作成中のデータが消えてしまった」ということがないよう、文書作成等の作業時はこまめに**データを保存**しましょう。



定期的にデータのバックアップを作成する

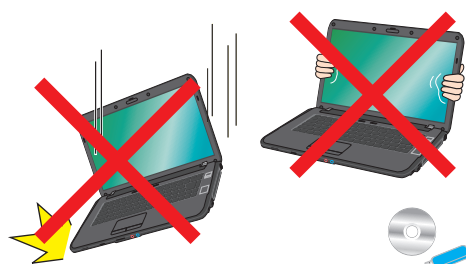
誤った操作やウイルス感染等により、ストレージ(ハードディスク / SSD / eMMC) (以降ストレージと記載します。)内のデータが消えてしまうことがあります。大事なデータは定期的に CD-R/DVD-R やフラッシュメディアなどの他の記録媒体にバックアップを作成しておきましょう。



パソコンにショックを与えない

ノートパソコンを持ち運ぶ場合は次の注意を守ってください。

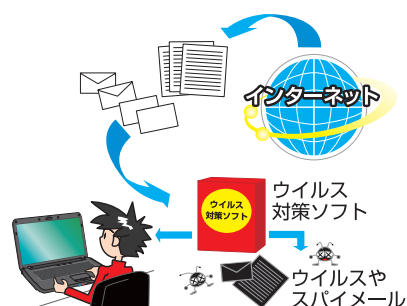
- ・電源を切る
- ・強い衝撃や振動を与えない
- ・液晶を持たない
- ・片手で持たない
- ・光学メディアや PC カードなどを取り外す
- ・アダプターや周辺機器などを取り外す



インターネットを利用するときはウイルス対策を万全に

インターネットに接続すると、E メールやウェブサイトなどから、コンピューターウイルスに感染する危険があります。そのため

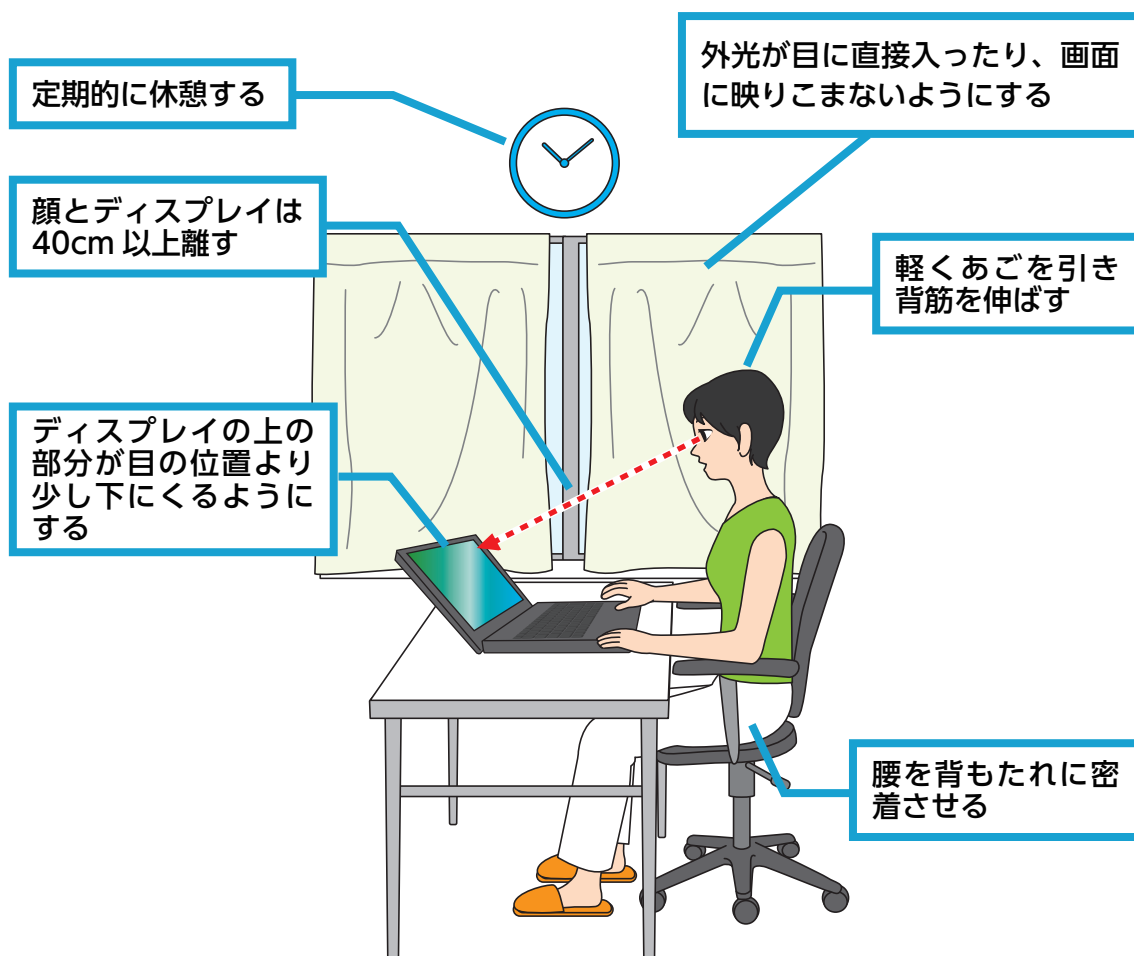
- ・ Windows Update (※) で、システムの更新をする
- ・ 市販のウイルス対策用ソフトウェア等を利用する
- ・ 信頼できないウェブサイトのアクセスやダウンロードをしない
- ・ 心当たりのない E メール (添付されているデータがある場合はそれを含む) は開封せずに削除するなど、ウイルス対策を積極的に行いましょう。



Windows Update について

インターネットに接続できる環境にあるときは、Windows や Microsoft Edge の更新補助機能である Windows Update を実行してください。OS の発売後に発見された不具合を解消したり、各種ドライバーを更新することができます。特に、OS 関連でリリースされているサービスパックについてはインストールすることをお勧めします。

Windows Update への接続方法は、[スタート] → [設定] → [更新とセキュリティ] → [更新プログラムのチェック] の順にクリックします。



姿勢

- ▶ 軽くあごを引き、背筋を伸ばすようにしましょう。
- ▶ 腰を背もたれに密着させましょう。
- ▶ 腕や太ももは床と平行にしましょう。
- ▶ 足裏全体を床につけるようにしましょう。

キーボード マウスの操作

- ▶ 入力中に手首をあまり曲げすぎないようにしましょう。
- ▶ マウスを動かす時は、手首だけを使わずに腕全体で動かすようにしましょう。
- ▶ キーボードの入力中は、手首と手を宙に浮かせ、離れたキーを押すときに指を伸ばすのではなく腕全体を移動させるようにしましょう。
- ▶ キーボードやタッチパッドは軽いタッチ・クリックをしましょう。

使用時間

- ▶ 一時間に一回休憩を取り、遠くを見つめたり、ストレッチをしましょう。

ディスプレイ

- ▶ 顔とディスプレイは 40cm 以上離しましょう。
- ▶ ディスプレイの上の部分が目の位置より少し下にくるようにしましょう。
- ▶ ご利用中、外光が目に入ったり、画面に映りこまないようにしましょう。
- ▶ ディスプレイは清潔にしましょう。

梱包を開けましたら以下のリストを参考に、付属品等がそろっているかご確認ください。
ご確認の際、万一破損していたり付属品が足りない場合は**すぐにご購入店またはサードウェーブサポートセンターへご連絡ください。**

ハードウェア類

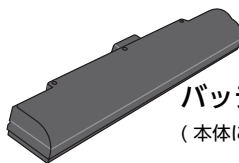
ノートパソコン

モデル・カスタマイズにより
形式／形状が異なります

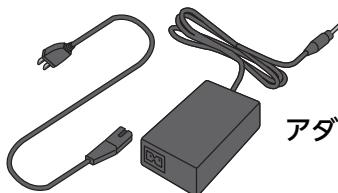


バッテリー

(本体に内蔵されている製品もあります)



アダプター



製造番号シール

製造番号シールはパソコンの底面に貼付されています。パソコンを設置すると製造番号を確認しづらくなりますのでパソコンを設置する前に確認してメモしておきましょう。

製造番号シール



製造番号をメモしておきましょう

製造番号チェック

						—				
--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--



マニュアルとディスク類



ドライバー CD、マニュアル類
(モデルにより異なります)

Windows メディアについて
(OS インストールモデルのみ)



製品には Windows メディアは付属いたしません。
(モデルにより付属する場合もあります)

プロダクトキーとは

プロダクトキーとは Windows のライセンス認証に必要な英字と数字を組み合わせた 25 桁のコードです。このキーは Windows の初期設定時に入力を行うことにより、認証された正規の Windows を使用することができるようになります。

※[ライセンス認証の方法は、29 ページ](#)をご確認ください。

プロダクトキーの入力について

プロダクトキーは、搭載されている Windows の種類により、パソコン本体にデータとして記録されているモデルと、パソコン本体の底面にラベル（COA ラベル）で貼付しているモデルがあります。また、それぞれのモデルでプロダクトキーの入力方法が変わります。

■ OEM ライセンス認証 3.0 採用モデル

Windows の初期設定時に、プロダクトキーは自動で入力されます。



プロダクトキーはパソコン本体にデータとして記録されています。初期設定時には、そのデータが自動で入力されるためプロダクトキーを入力する必要はありません。
プロダクトキーを記載していたラベルの添付はありません。

■ OEM ライセンス認証 3.0 採用モデル以外のモデル

Windows の初期設定時に、プロダクトキーを手動で入力します。



パソコン底面に貼付されたラベルから、プロダクトキーを確認して手動で入力を行います。ラベル形状や貼付け場所は、以下の項目「ラベルの確認」をご参照ください。

電源を入れる

パソコンの電源の入れ方は、次のとおりです。

1 アダプターとバッテリーを接続します

セットアップ中に電池切れを起こさないためにアダプターを接続した状態で作業します。

- バッテリーをパソコンに接続します。
- 接続したバッテリーをロックします。
- アダプターに電源ケーブルを差し込みます。
- アダプターをパソコンに接続します。
- 電源ケーブルをコンセントに差し込みます。

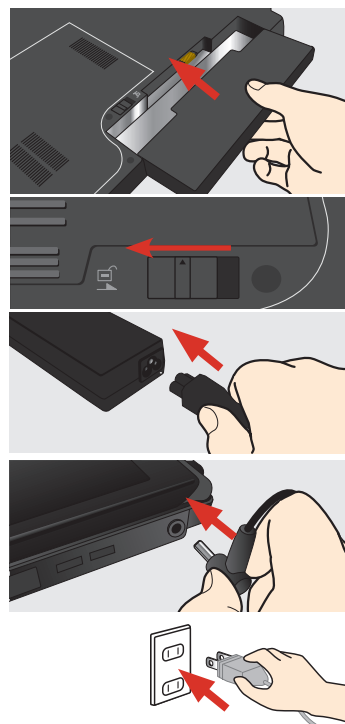


ケーブルを接続する際は、コネクタを持ち垂直に差し込んでください。



製品に付属されているアダプターをご利用ください。他製品のアダプターを使用しないでください。

※ バッテリーは、本体に内蔵されている製品もあります。

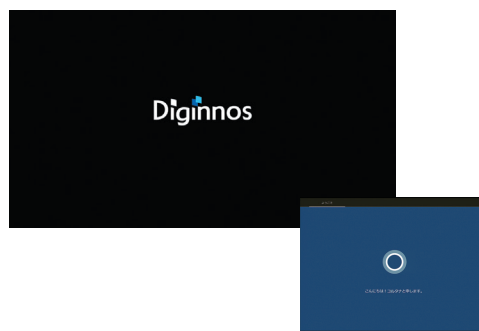


2 パソコンの電源スイッチを押して電源を入れます



3 起動すると画面にロゴ画面が表示され、インストールされているOSが起動します


※ 初めてご利用の際は、OSのセットアップを行う必要があります

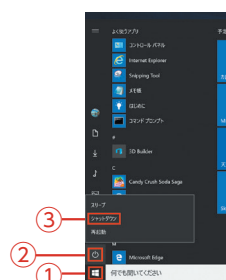


電源の切り方 (シャットダウン方法)


■ 通常時の電源の切り方

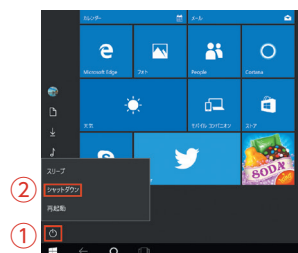
基本の操作方法

- ① [スタート] をクリックしてスタートメニューを開きます。
- ② [] をクリックして終了方法を表示します。
- ③ [シャットダウン] をクリックして終了します。



タブレットモードでの操作方法

- ① 画面左下の [] 電源ボタンをクリックして終了方法を表示します。
- ② [シャットダウン] をクリックして終了します。



■ アプリがフリーズして終了操作ができないとき

タスクマネージャーでフリーズしているアプリを強制終了します。

1 「タスクマネージャー」を表示します。

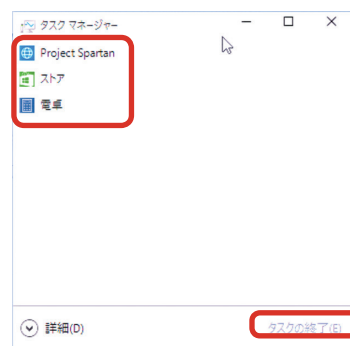
キーボードの [Ctrl] + [Shift] + [ESC] を同時に押し、
[タスクマネージャー] を起動します。

2 指定のアプリのタスクを終了します。

動作の止まってしまったアプリなどを指定して、
[タスクの終了] をクリックすると、そのアプリを強制的に終了
させることができます。

ワンポイント

タスクマネージャーの [詳細] をクリックすると、
各アプリの CPU やメモリ等の使用率が表示されます。



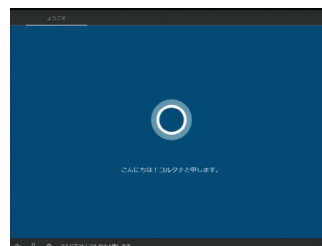
タスクマネージャーを起動できない場合は、電源が切れるまで
電源スイッチを押し続けてパソコンを強制終了します。

Windows のセットアップ

初めて起動した際には、ご利用環境を設定（セットアップ）する必要があります。下記手順に従ってセットアップし、PC を使用できる状態にしましょう。セットアップには 10 分程度かかりますが、最後まで電源を切らずに設定を進めてください。

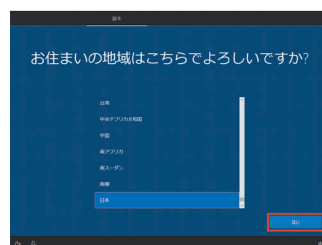
1 「こんにちは！コルタナと申します。」が表示されます

口述設定しない場合は、マイクを無効に設定します。マイクからの音を検知し、設定を自動的に進めてしまう場合があります。



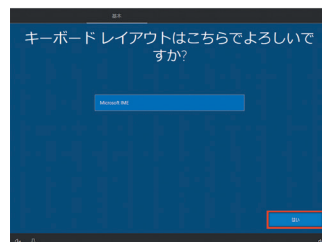
2 「お住まいの地域はこちらでよろしいですか？」が表示されます

お住まいの地域を確認し、[はい] をクリックします。



3 「キーボードレイアウトはこちらでよろしいですか？」が表示されます

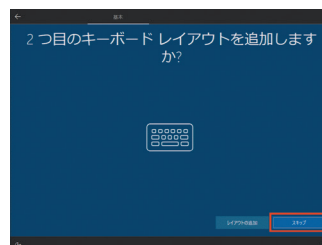
キーボードレイアウトを確認し、[はい] をクリックします。



4 「2 つ目のキーボードレイアウトを追加しますか？」が表示されます

必要な場合は、追加します。

ここでは例として、[スキップ] をクリックします。



5 「ネットワークに接続しましょう」が表示されます。

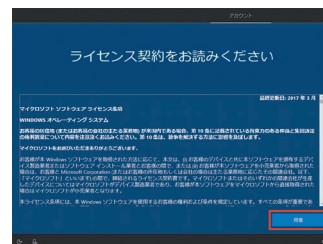
適宜設定します。

プロバイダーからの設定情報をご用意されている場合は、ここで設定します。



6 「ライセンス契約をお読みください」が表示されます

[同意] をクリックします。



PC がインターネットに接続されていない場合 : [23 ページ ⑦-1 へ](#)

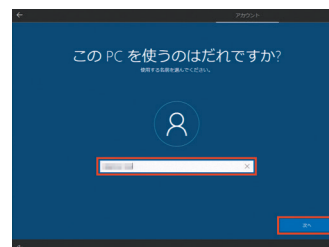
PC がインターネットに接続され、すでに Microsoft アカウントをお持ちの場合 : [24 ページ ⑦-2 へ](#)

PC がインターネットに接続され、Microsoft アカウントをお持ちではない場合 : [25 ページ ⑦-3 へ](#)

7-1 PC がインターネットに接続されていない場合

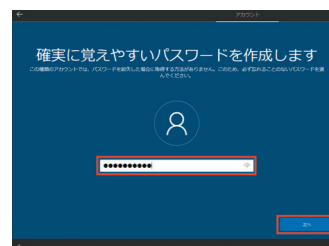
- ① 「このPC を使うのはだれですか?」が表示されます。

名前を入力し、[次へ] をクリックします。



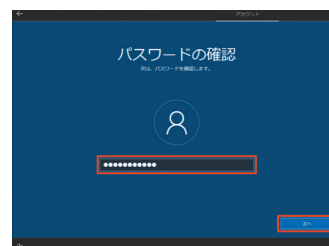
- ② 「確実に覚えやすいパスワードを作成します」が表示されます。

パスワードを入力し、[次へ] をクリックします。



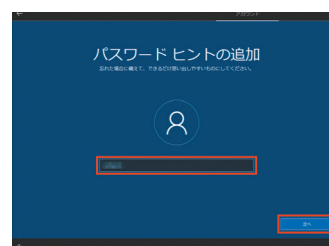
- ③ 「パスワードの確認」が表示されます。

パスワードを入力し、[次へ] をクリックします。



- ④ 「パスワード ヒントの追加」が表示されます。

パスワード ヒントを入力し、[次へ] をクリックします。

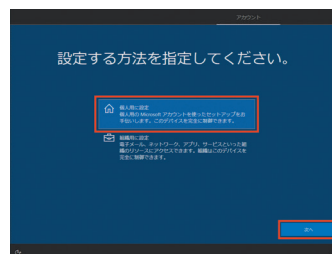


[28 ページ ⑧へ続きます](#)

7-2 PC がインターネットに接続され、すでにMicrosoft アカウントをお持ちの場合

- ① 「設定する方法を指定してください。」が表示されます。(Windows 10 Pro)

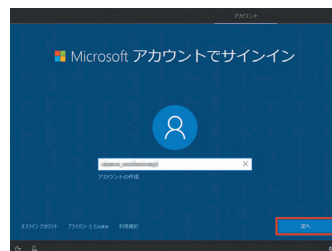
[個人用に設定]、[次へ] の順にクリックします。



- ② 「Microsoft でサインイン」が表示されます。

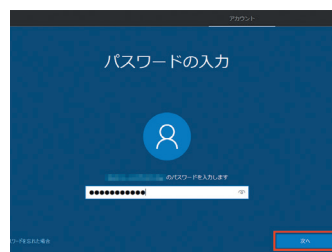
Microsoft アカウント用メールアドレスを入力し、

[次へ] をクリックします。



- ③ 「パスワードの入力」が表示されます。

Microsoft アカウント用メールアドレスのパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。

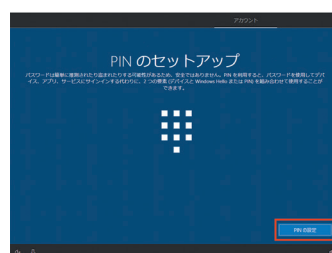


- ④ 「PIN のセットアップ」が表示されます。

[PIN の設定] をクリックし、PIN を設定します。
設定画面の「英字と記号を含める」にチェックを入れると
数字以外も使用できるようになります。

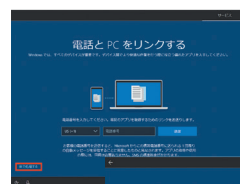
PIN の要件 :

4 文字以上である	127 文字以下である
大文字を使用できます	小文字を使用できます
数字を使用できます	特殊文字を使用できます
数字のパターン (123456 や 11111 など) にすることはできません	



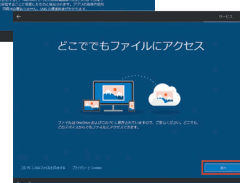
- ⑤ 「電話とPC をリンクする」が表示されます。

[後で処理する] クリックします。



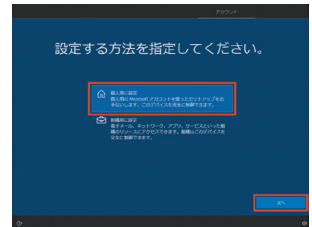
- ⑥ 「どこでもファイルにアクセス」が表示されます。

ここでは、[次へ] クリックします。

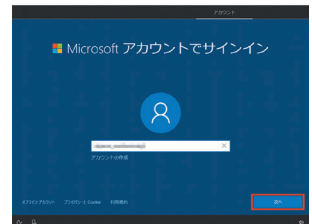


7-3 PC がインターネットに接続され、Microsoft アカウントをお持ちではない場合

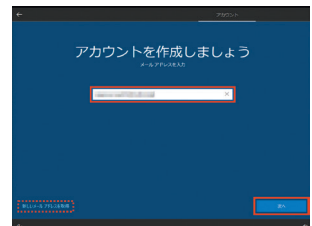
- ① 「設定する方法を指定してください。」が表示されます。(Windows 10 Pro)
- [個人用に設定]、[次へ] の順にクリックします。



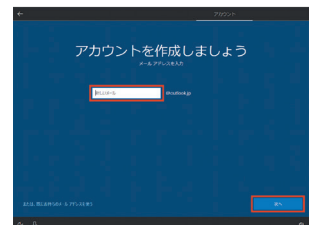
- ② 「Microsoft アカウントでサインイン」が表示されます。
- [アカウントの作成] をクリックします。



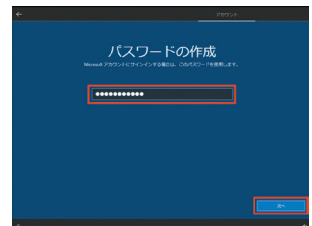
- ③ 「アカウントを作成しましょう」が表示されます。
- Microsoft アカウント用にご用意のメールアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。



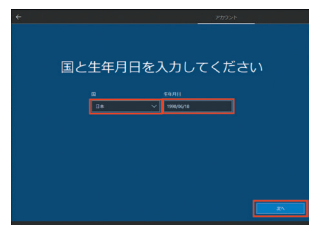
※メールアドレスをお持ちでない場合は、こちらの画面左下の [新しいメール アドレスを取得] をクリックし、メールアドレスを作成することができます。



- ④ 「パスワードの作成」が表示されます。
- 任意のパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。

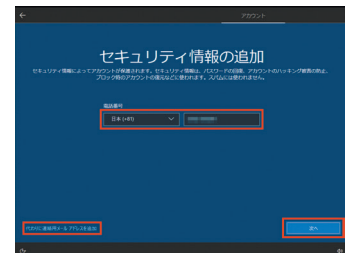


- ⑤ 「国と生年月日を入力してください」が表示されます。
- それぞれ選択し、[次へ] をクリックします。



⑥ 「セキュリティ情報の追加」が表示されます。

電話番号を入力いただき（または画面左下の「代わりに連絡用メールアドレスを追加」をクリックし、メールアドレスを入力）、
「次へ」をクリックします

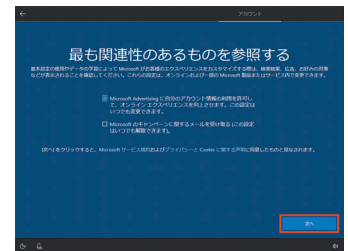


⑦ 「最も関連性のあるものを参照する」が表示されます。

任意で選択し、「次へ」をクリックします。

[手順 7-2 項④に遷移します。](#)

画面の指示に従い手順を進めます。



8 「Cortana をパーソナル アシスタントとして指定しますか?」が表示されます

[はい] をクリックします。

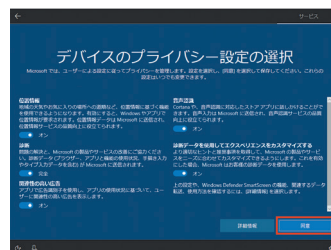


9 「デバイスのプライバシー設定の選択」が表示されます

[同意] をクリックします。

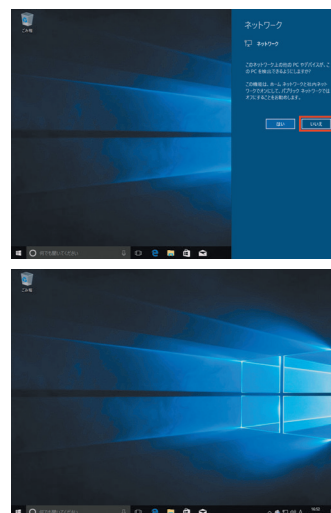
設定作業が完了して、最終処理が完了すると Windows が起動します。

マカフィ製品がプリインストールされた製品では、Windows 最終処理完了後、マカフィ製品の簡易登録画面が表示されます。



10 Windows のセットアップは、完了しました

ネットワークに接続されている場合は、ネットワーク上の他の PC が、この PC を検出できるように設定する画面が表示されます。必要に応じて設定します。ここでは、[いいえ] をクリックします。



11 ライセンス認証 (プロダクトアクティベーション)

Windows セットアップ完了後、すぐにライセンス認証 (プロダクトアクティベーション) を行う必要があります。ライセンス認証は、PC がインターネットに接続されると自動で行われます

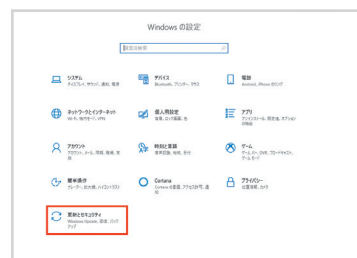
プロダクトアクティベーションとは?

「Microsoft® Office」 「Windows® 7」 「Windows® 8.1」 「Windows® 10」 など、不正利用を防ぐ目的で導入されているライセンス認証技術です。

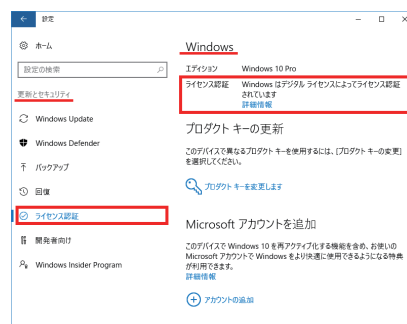
Windows ライセンス認証の方法

● Windows のライセンス認証画面を表示します。

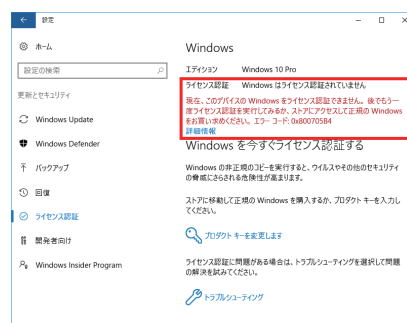
- ▼ インターネットに接続されていることを確認します。
- ▼ Windows を起動し [Windows キー] + [I] キー を押し「設定」を開きます。
- ▼ 「設定」の画面が表示されたら、[更新とセキュリティ] をクリックして開きます。
- ▼ 「更新とセキュリティ」の画面が表示されたら、「ライセンス認証」をクリックして開きます。



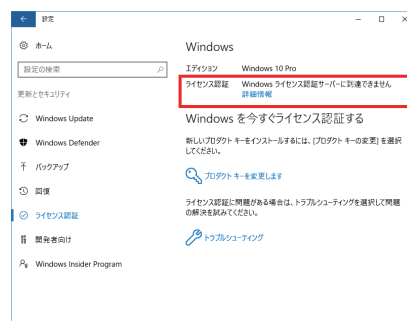
「Windows」欄の「ライセンス認証」項目で正しく認証されているか確認します。「Windows はデジタルライセンスによってライセンス認証されています」と表示されます。



「Windows はライセンス認証 されていません」と表示された場合は、インターネットに接続されていません。インターネットに接続してください。



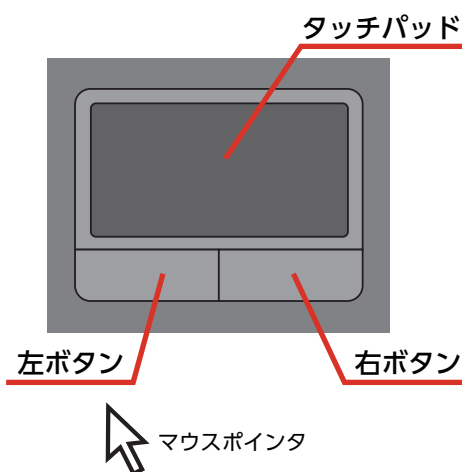
「Windows ライセンスサーバーに到達 できません」と表示された場合は、インターネットに接続されていますが、何らかの不具合が発生しています。時間を置いてから Windows を再起動してください。



タッチパッドの使い方

タッチパッドはマウスの代わりにノートパソコンに搭載されている入力機器です。

場所を取らず、何処でも使用できます。下記の操作法は一例です。モデルにより操作方法が変わる場合がありますのでご了承ください。



ポインタの操作

タッチパッドの上に指を置き移動させます。

タッチパッドの端まできましたら、指を持ち上げてタッチパッドの中心に戻します。

マウスボタン・ホイールの操作

クリック [選択]	マウスポインタを画面上の対象物に合わせ、左ボタンを1回カチッと押します。または、タッチパッドを1回軽くたたきます。
ダブルクリック [ソフトの起動・実行]	マウスポインタを画面上の対象物に合わせ、左ボタンを2回カチカチッと押します。またはタッチパッドを2回軽くたたきます。
右クリック [関連メニュー画面の表示]	マウスポインタを画面上の対象物に合わせ、右ボタンを1回カチッと押すと関連したメニュー画面が表示されます。
ドラッグアンドドロップ [ファイルの移動など]	マウスポインタを画面上の対象物に合わせ、左ボタンをクリックし、左ボタンを押したままカーソルを目的の場所まで移動して左ボタンを離します。または、タッチパッドを2回軽くたたき指を離さず、カーソルを目的の場所まで移動して指を離します。
スクロール [上下への移動]	対象のウィンドウを選択し、タッチパッドの右端に指を置き上下に移動させると、選択されているウィンドウの表示が上下にスクロールします。

タッチパッドの設定変更

マウスのプロパティを開きます。

[スタート] → [Windows システムツール] → [コントロール パネル] → [コンピューターの簡単操作] → [マウスの動作の変更] → [マウス設定]

上のボタンタブからクリックの反応速度、ポインタオプションタブからポインタの移動速度を使いやすさに合わせて調節してください。調節が終わったら下の [OK] をクリックして設定します。

! 購入時の構成により上記の方法ではなく、専用の設定ソフトで設定する場合があります。

タッチパッドの停止方法

タッチパッドを使用しない場合、動作を停止することができます。
モデルにより停止スイッチが付いているものとソフトウェアで
停止するものがあります。

⚠ モデルによりタッチパッドの停止が
できないモデルもあります。

■スイッチ設定

タッチパットのオン・オフをスイッチで変更できる機種は右図のようなスイッチが
付いていたり、キーボードにスイッチが割り当てられています。このスイッチによ
りタッチパッドのオン・オフを設定します。



例：Fn+F9

⚠ キーボードにスイッチが割り当てられている場合は「Fn キー」と同時に押すことで設定をします。

■ソフトウェア設定（マウスのプロパティ）

タッチパットのオン・オフをソフトウェア設定で変更できる機種はマウスのプロパティ設定で行います。

● マウスのプロパティの表示方法

[スタート] → [設定] → [デバイス] → [マウス] → [その他のマウス オプション]

● タッチパッドの設定

タッチパッド設定用ソフトウェアには主に下記の2種類があります。

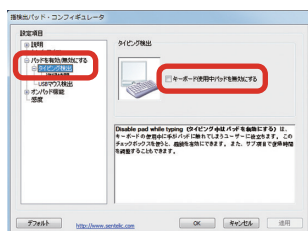
A：「Sentelic」設定方法

「マウスのプロパティ」で [指検出パッド] を選択して [設定する] をクリックし「指検出パッド・コンフィギュレーション」を表示します。



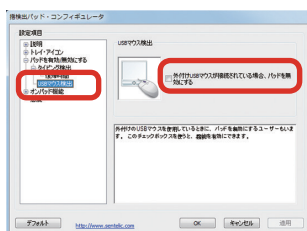
A-1：タイピング検出

「キーボード使用中にパッドを無効にする」にチェックを入れ [OK] をクリックします。



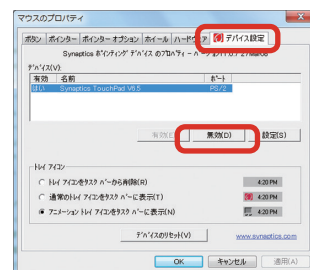
A-2：USB マウス検出

「外付け USB マウスが接続されている場合、パッドを無効にする」にチェックを入れ [OK] をクリックします。



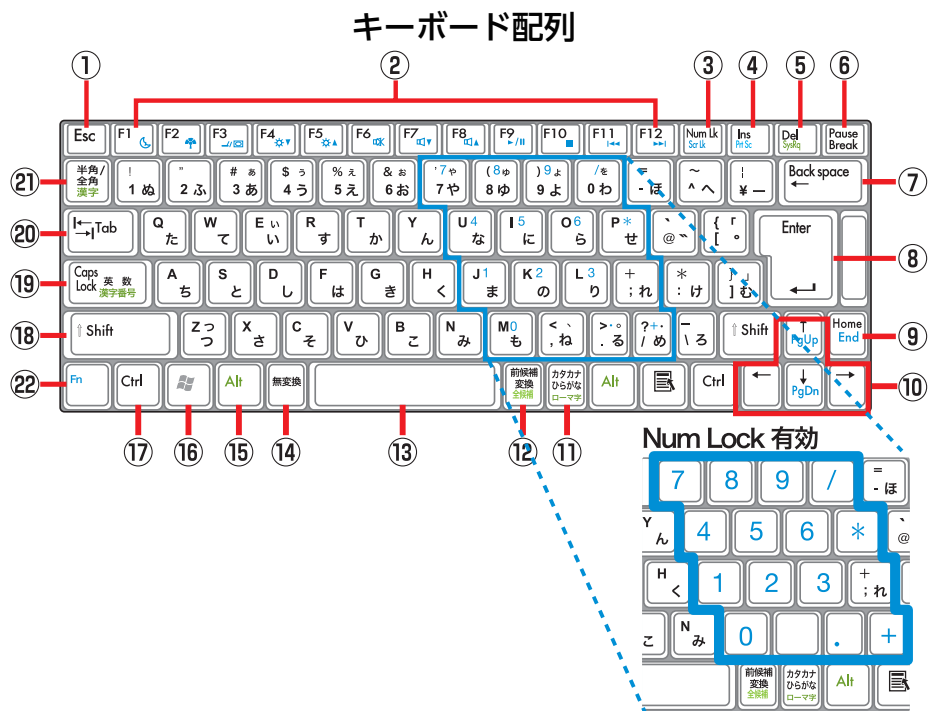
B：「Synaptics」設定方法

「マウスのプロパティ」で [デバイス設定] を選択して「無効」をクリックします。



キーボードの使い方

ノートキーボード（日本語対応）の説明をします。
ご購入時の構成によりキーの配置は変わりますのでご了承ください。



[キーの名称と一般的な機能]

①	ESC エスケープ	現在の作業を取り消します。
②	F1 ～ F12 エフ 1 ～ 12	特定の機能が割り当てられたキーです。 ソフトにより割り当てられる機能が異なります。
③	Num Lock ナムロック	「Num Lock」を有効にするとアルファベットキーの一部を「テンキー入力用」に切り替えます。 「Num Lock」を有効にすると図の青枠内のアルファベットキーがテンキーとして使用できます。 切り替わる役割は、各キートップに一回り小さく違う色で印字されています。
④	Insert インサートキー	挿入モードのオンとオフを切り替えます。挿入モードがオンの場合は、入力したテキストがカーソル位置に挿入されます。挿入モードがオフの場合は、入力したテキストが既存の文字列と置き換わります。解除するには、再度 [Insert] キーを押してください。
⑤	Delete デリートキー	カーソルの後にある 1 文字、または選択したテキストを削除します。
⑥	Pause/Break ポーズブレイク	このキーは通常使用しません。
⑦	Back Space バックスペースキー	カーソルの直前にある文字、または選択したテキストを削除します。
⑧	Enter エンターキー	入力内容を確定します。次の行の先頭へカーソルを移動します。ダイアログボックスで Enter キーを押すと、強調表示されたボタンを確定できます。
⑨	Home ホームキー	行の先頭、または Web ページの最上部にカーソルを移動します。

⑩	↑ ↓ ← → カーソルキー	カーソルや選択項目を、矢印の方向に 1 スペース分または 1 行分移動します。 あるいは、矢印の方向に Web ページをスクロールします。
⑪	カタカナ・ひらがな / ローマ字	日本語入力システムがオンのとき、Alt+「カタカナ・ひらがな / ローマ字」を押すと、ローマ字入力とかな入力が切り替わります。Shift+「カタカナ・ひらがな / ローマ字」押すと、カタカナモードになります。解除するには、再度「カタカナ・ひらがな / ローマ字」キーを押します。
⑫	変換	日本語入力システムがオンのとき、入力した文字列を変換します。入力済みの文字を指定して変換します。
⑬	スペース	空白を入力します。また、日本語入力システムがオンのとき、入力した文字列を変換します。
⑭	無変換	日本語入力システムがオンのとき、入力した文字列を、「全角カタカナ」、「半角カタカナ」、「全角ひらがな」に変換します。入力済みの漢字などを指定して、「全角カタカナ」、「半角カタカナ」、「全角ひらがな」に変換します。
⑮	Alt オルトキー	他のキーと同時に押すことで、様々な機能を実行します。 参照： 次ページ Windows ショートカット一覧
⑯	Ctrl コントロールキー	
⑰	Shift シフトキー	
⑱	Windows キー ウィンドウズキー	[スタート]メニューを開きます。また [Windows キー] と他のキーを同時に押すことによって、ショートカットとして操作します。
⑲	Caps Lock キャップスロックキー	Caps Lock がオンになっているときは、アルファベットが大文字で入力されます。 [Shift] と [Caps Lock] を同時に押すことで、Caps Lock をオンにします。 [Caps Lock] をオンにすると、キーロック表示ランプの Caps Lock ランプが点灯します。解除するには、再度 [Shift] と [Caps Lock] を同時に押してください。
⑳	Tab タブキー	文章入力時に、カーソルを一定文字数だけ前方へ移動します。 またフォームに記入する際、次のテキストボックスへ移動します。
㉑	半角 / 全角、漢字	日本語入力システムをオン・オフします。
㉒	Fn エフエヌキー	他のキーと同時に押すことで、様々な機能を実行します。 切り替わる役割は、各キートップに一回り小さく違う色で印字されています。(FN との組合で切り替わる役割や配置、シンボルマークは、ご購入時の構成により変わります)

[Fn キーとの組合せと機能]



Fn+F1		スリープモードに入る	Fn+ NumLK	Scr Lk (スクロールロック) : 通常使用しません。
Fn+F2		無線LANのオン・オフ切り替え	Fn+In	PrtSc (プリントスクリーン) : 画面全体のイメージ (スクリーン ショット) がキャプチャされ、クリップボードにコピーされます。 コピーしたイメージは、Microsoft ペイントなどの描画ツールに画像として貼り付けることができます。
Fn+F3		外付けディスプレイとの表示切り替え		
Fn+F4		液晶ディスプレイの明るさを下げる	Fn+ Home	End (エンドキー) : 行の末尾、または Web ページの最上部にカーソルを移動します。
Fn+F5		液晶ディスプレイの明るさを上げる		
Fn+F6		スピーカのオン / オフ切り替え	Fn+ ↑	PgUp : (ページアップキー) カーソルまたはページを 1 画面上へ移動します。
Fn+F7		音量を下げる		
Fn+F8		音量を上げる	Fn+ ↓	PgDn : (ページダウンキー) カーソルまたはページを 1 画面下へ移動します。
Fn+F9		再生 / 一時停止		
Fn+F10		停止		
Fn+F11		前のトラック / チャプタへ		
Fn+F12		次のトラック / チャプタへ		

コピー、貼り付け、その他の一般的なキーボード ショートカット

押すキー	目的
Ctrl + X	選択した項目を切り取る
Ctrl + C (または Ctrl + Insert)	選択した項目をコピーする
Ctrl + V (または Shift + Insert)	選択した項目を貼り付ける
Ctrl + Z	操作を元に戻す
Alt + Tab	開いているアプリを切り替える
Alt + F4	アクティブなアイテムを閉じる、またはアクティブなアプリを終了する
Windows ロゴ キー + L	PC をロックする
Windows ロゴ キー + D	デスクトップを表示または非表示にする
F2	選択したアイテムの名前を変更する
F3	エクスプローラーでファイルまたはフォルダーを検索する
F4	エクスプローラーでアドレス バーの一覧を表示する
F5	作業中のウィンドウを最新の情報に更新する
F6	ウィンドウ内またはデスクトップ上の画面要素を順番に切り替える
F10	アクティブなアプリのメニュー バーをアクティブにする
Alt + F8	サインイン画面でパスワードを表示する
Alt + Esc	アイテムを開かれた順序で順番に切り替える
Alt + 下線付き文字	その文字に対応するコマンドを実行する
Alt + Enter	選択したアイテムのプロパティを表示する
Alt + Space	作業中のウィンドウのショートカット メニューを開く
Alt + ←	前に戻る
Alt + →	次に進む
Alt + PageUp	1 画面上へ移動する
Alt + PageDown	1 画面下へ移動する
Ctrl + F4	作業中のドキュメントを閉じる (複数のドキュメントを同時に開くことができる全画面表示のアプリで)
Ctrl + A	ドキュメント内またはウィンドウ内のすべての項目を選択する
Ctrl + D (または Del)	選択したアイテムを削除し、ごみ箱に移動する
Ctrl + R (または F5)	作業中のウィンドウを最新の情報に更新する
Ctrl + Y	操作をやり直す
Ctrl + →	次の単語の先頭にカーソルを移動する
Ctrl + ←	前の単語の先頭にカーソルを移動する
Ctrl + ↓	次の段落の先頭にカーソルを移動する
Ctrl + ↑	前の段落の先頭にカーソルを移動する
Ctrl + Alt + Tab	方向キーを使って、開いているすべてのアプリ間で切り替える
Ctrl + Alt + Shift + 方向キー	スタート メニュー内でフォーカスされているグループまたはタイルを指定した方向に移動する
Ctrl + 方向キー (アイテムに移動する) + Space	ウィンドウ内またはデスクトップ上の複数のアイテムを個別に選択する
Ctrl + Shift + 方向キー	テキストのブロックを選択する
Ctrl + Esc	スタート メニューを開く
Ctrl + Shift + Esc	タスク マネージャーを開く
Ctrl + Shift	キーボード レイアウトを切り替える (複数のキーボード レイアウトが使用可能になっている場合)
Ctrl + Space	中国語の入力方式エディター (IME) をオンまたはオフにする
Shift + F10	選択したアイテムのショートカット メニューを表示する
Shift + 任意の方向キー	ウィンドウ内またはデスクトップ上の複数のアイテムを選択する、またはドキュメント内のテキストを選択する
Shift + Del	選択したアイテムをごみ箱に移動せずに削除する
→	左側にある次のメニューを開く、またはサブメニューを開く
←	右側にある次のメニューを開く、またはサブメニューを閉じる
Esc	現在の作業を停止または終了する

Windows ロゴ キーのキーボード ショートカット

押すキー	目的
Windows ロゴ キー	スタート メニューを開くまたは閉じる
Windows ロゴ キー + A	アクション センターを開く
Windows ロゴ キー + B	通知領域にフォーカスを設定する
Windows ロゴ キー + C	Cortana を聞き取りモードで開く ※既定では、このショートカットは無効になっています。有効にするには、タスクバーの検索ボックスからCortanaを開き、[設定]を選択します。[Windows ロゴ キーを押しながらCキーを押すとCortanaがコマンドを聞き取る]の下にあるトグルをオンにします。Cortanaは、特定の国または地域でのみご利用いただけます。国や地域によっては、Cortanaの一部の機能を利用できない場合があります。Cortanaを利用できない場合、または Cortanaがオフになっている場合でも、検索機能は使うことができます。
Windows ロゴ キー + Shift + C	チャーム メニューを開く
Windows ロゴ キー + D	デスクトップを表示または非表示にする
Windows ロゴ キー + Alt + D	デスクトップで日付と時刻を表示または非表示にする
Windows ロゴ キー + E	エクスプローラーを開く
Windows ロゴ キー + F	フィードバック Hub を開く
Windows ロゴ キー + G	ゲームの実行中にゲーム バーを開く
Windows ロゴ キー + I	[設定] を開く
Windows ロゴ キー + J	利用可能な場合は、Windows のヒントにフォーカスを設定する。 ※Windows のヒントが表示されている場合は、ヒントにフォーカスを移動します。 キーボード ショートカットをもう一度押すと、Windows のヒントが固定されている画面上の要素にフォーカスが移動します。
Windows ロゴ キー + K	[接続] クイックアクションを開く
Windows ロゴ キー + L	PC をロックする、またはアカウントを切り替える
Windows ロゴ キー + M	すべてのウィンドウを最小化する
Windows ロゴ キー + O	デバイスの向きをロックする
Windows ロゴ キー + P	プレゼンテーション表示モードを選択する
Windows ロゴ キー + R	[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスを開く
Windows ロゴ キー + S	検索を開く
Windows ロゴ キー + T	タスク バー上のアプリを順番に切り替える
Windows ロゴ キー + U	コンピューターの簡単操作センターを開く
Windows ロゴ キー + V	通知を順番に切り替える
Windows ロゴ キー + Shift + V	通知を逆順に切り替える
Windows ロゴ キー + X	[クイック リンク] メニューを開く
Windows ロゴ キー + Z	全画面表示モードのアプリで使用できるコマンドを表示する
Windows ロゴ キー + コンマ (,)	デスクトップを一時的にプレビューする
Windows ロゴ キー + Pause	[システムのプロパティ] ダイアログ ボックスを表示する
Windows ロゴ キー + Ctrl + F	PC を検索する (ネットワークに参加している場合)
Windows ロゴ キー + Shift + M	最小化されたウィンドウをデスクトップに復元する
Windows ロゴ キー + 数字	デスクトップを開き、タスク バー上の数字で示す位置にピン留めされているアプリを開始する。アプリが既に実行されている場合は、そのアプリに切り替える。
Windows ロゴ キー + Shift + 数字	デスクトップを開き、タスク バー上の数字で示す位置にピン留めされているアプリの新しいインスタンスを開始する
Windows ロゴ キー + Ctrl + 数字	デスクトップを開き、タスク バー上の数字で示す位置にピン留めされているアプリの前の作業中のウィンドウに切り替える
Windows ロゴ キー + Alt + 数字	デスクトップを開き、タスク バー上の数字で示す位置にピン留めされているアプリのジャンプ リストを開く
Windows ロゴ キー + Ctrl + Shift + 数字	デスクトップを開き、タスク バー上の指定された位置にあるアプリの新しいインスタンスを管理者として開く
Windows ロゴ キー + Tab	タスク ビューを開く
Windows ロゴ キー + ↑	ウィンドウを最大化する
Windows ロゴ キー + ↓	現在のアプリを画面から削除する、またはデスクトップ ウィンドウを最小化する
Windows ロゴ キー + ←	画面の左側にアプリまたはデスクトップ ウィンドウを最大化する

押すキー	目的
Windows ロゴ キー + →	画面の右側にアプリまたはデスクトップ ウィンドウを最大化する
Windows ロゴ キー + Home	作業中のデスクトップ ウィンドウを除くすべてのウィンドウを最小化する (2 回目のキーストロークですべてのウィンドウを復元する)
Windows ロゴ キー + Shift + ↑	デスクトップ ウィンドウを画面の上下に拡大する
Windows ロゴ キー + Shift + ↓	作業中のデスクトップ ウィンドウを、幅を維持しながら、縦方向に元のサイズに戻すか最小化する
Windows ロゴ キー + Shift + ← または →	デスクトップ上のアプリまたはウィンドウを別のモニター ディスプレイに移動する
Windows ロゴ キー + Space	入力言語とキーボード レイアウトを切り替える
Windows ロゴ キー + Ctrl + Space	以前に選択されていた入力値に変更する
Windows ロゴ キー + Ctrl + Enter	ナレーターを開く
Windows ロゴ キー + スラッシュ (/)	IME の再変換を開始する
Windows ロゴ キー + 正符号 (+) または負符号 (-)	拡大鏡を使って拡大または縮小する
Windows ロゴ キー + Esc	拡大鏡を終了する

コマンド プロンプトのキーボード ショートカット

押すキー	目的
Ctrl + C (または Ctrl + Insert)	選択したテキストをコピーする
Ctrl + V (または Shift + Insert)	選択したテキストを貼り付ける
Ctrl + M	マーク モードを開始する
Alt + 選択キー	ブロック モードで選択を開始する
方向キー	カーソルを指定した方向へ移動する
PageUp	カーソルを 1 ページ上へ移動する
PageDown	カーソルを 1 ページ下へ移動する
Ctrl + Home (マーク モード)	カーソルをバッファの先頭に移動する
Ctrl + End (マーク モード)	カーソルをバッファの最後に移動する
Ctrl + ↑	出力の履歴を 1 行上へ移動する
Ctrl + ↓	出力の履歴を 1 行下へ移動する
Ctrl + Home (履歴のナビゲーション)	コマンド ラインが空の場合は、ビューポートをバッファの先頭に移動する。それ以外の場合は、コマンド ラインのカーソルの左側にある文字をすべて削除する。
Ctrl + End (履歴のナビゲーション)	コマンド ラインが空の場合は、ビューポートをコマンド ラインに移動する。それ以外の場合は、コマンド ラインのカーソルの右側にある文字をすべて削除する。

ダイアログ ボックスのキーボード ショートカット

押すキー	目的
F4	アクティブな一覧内の各項目を表示する
Ctrl + Tab	前方のタブへ移動する
Ctrl + Shift + Tab	後方のタブへ移動する
Ctrl + 数字 (1 ~ 9 の数字キー)	n 番目のタブに移動する
Tab	前方のオプションへ移動する
Shift + Tab	後方のオプションへ移動する
Alt + 下線付き文字	その文字で使われているコマンドを実行する (またはオプションを選択する)
Space	アクティブなオプションがチェック ボックスの場合、チェック ボックスをオンまたはオフにする
BackSpace	[名前を付けて保存] または [開く] ダイアログ ボックスでフォルダーが選択されている場合、1 つ上のフォルダーを開く
方向キー	アクティブなオプションがオプション ボタンのグループである場合、ボタンを選択する

エクスプローラーのキーボード ショートカット

押すキー	目的
Alt + D	アドレス バーを選択する
Ctrl + E	検索ボックスを選択する
Ctrl + F	検索ボックスを選択する
Ctrl + N	新しいウィンドウを開く
Ctrl + W	作業中のウィンドウを閉じる
Ctrl + マウスのスクロール ホイール	ファイル アイコンとフォルダー アイコンのサイズおよび外観を変更する
Ctrl + Shift + E	選択したフォルダーの上のフォルダーをすべて表示する
Ctrl + Shift + N	新しいフォルダーを作成する
NumLock + アスタリスク (*)	選択したフォルダーの下の子フォルダーをすべて表示する
NumLock + 正符号 (+)	選択したフォルダーの内容を表示する
NumLock + 負符号 (-)	選択したフォルダーを折りたたむ
Alt + P	プレビュー パネルを表示する
Alt + Enter	選択した項目の [プロパティ] ダイアログ ボックスを開く
Alt + →	次のフォルダーを表示する
Alt + ↑	フォルダーの親フォルダーを表示する
Alt + ←	前のフォルダーを表示する
BackSpace	前のフォルダーを表示する
→	現在の選択を表示する (折りたたまれている場合)、または最初のサブフォルダーを選択する
←	現在の選択を折りたたむ (展開されている場合)、またはフォルダーの親フォルダーを選択する
End	作業中のウィンドウの一番下を表示する
Home	作業中のウィンドウの一番上を表示する
F11	作業中のウィンドウを最大化または最小化する

仮想デスクトップのキーボード ショートカット

押すキー	目的
Windows ロゴ キー + Tab	タスク ビューを開く
Windows ロゴ キー + Ctrl + D	仮想デスクトップを追加する
Windows ロゴ キー + Ctrl + →	右側に作成した仮想デスクトップと切り替える
Windows ロゴ キー + Ctrl + ←	左側に作成した仮想デスクトップと切り替える
Windows ロゴ キー + Ctrl + F4	使用中の仮想デスクトップを閉じる

タスク バーのキーボード ショートカット

押すキー	目的
Shift + タスク バー ボタンをクリック	アプリを開く、またはアプリの別のインスタンスをすばやく開く
Ctrl + Shift + タスク バー ボタンをクリック	管理者としてアプリを開く
Shift + タスク バー ボタンを右クリック	アプリのウィンドウ メニューを表示する
Shift + グループ化されたタスク バー ボタンを右クリック	グループのウィンドウ メニューを表示する
Ctrl + グループ化されたタスク バー ボタンをクリック	グループのウィンドウを順番に切り替える

設定のキーボード ショートカット

押すキー	目的
Windows ロゴ キー + I	設定を開く
Backspace	設定のホーム ページに戻る

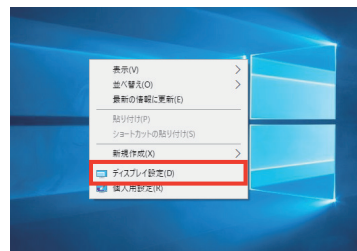
接続したディスプレイや、使いやすさに合わせて画面解像度を設定しましょう。

画面解像度設定

1 「設定」の「ディスプレイ」を表示

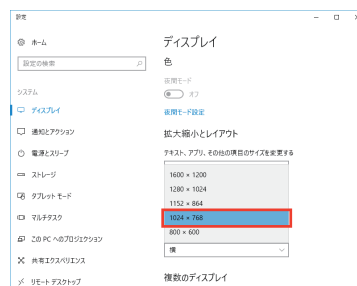
「設定」の「ディスプレイ」を表示

デスクトップ上を右クリックし、[ディスプレイ設定 (D)] をクリックします。



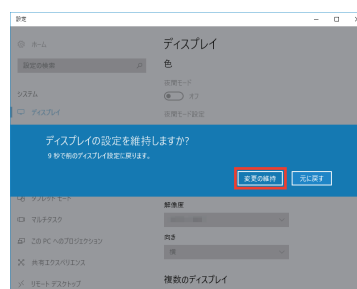
2 ディスプレイ表示の変更

[解像度] プルダウンメニューを開き、任意の解像度をクリックします。



3 「ディスプレイの設定を維持しますか?」が表示されます

[変更の維持] をクリックします。




ワンポイント

液晶ディスプレイで文字がにじむ

画面解像度を使用しているディスプレイの最大解像度に設定してください。液晶ディスプレイはそのディスプレイの最大解像度で使用することが推奨されています。

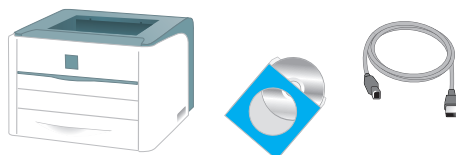
推奨以外の解像度で使用すると、にじみなどの状態が見られる場合がありますのでご注意ください。

各周辺機器の接続は、接続機器の取扱説明書を確認し作業手順に沿ってください。
取り付け作業の一例としてプリンターの接続方法を記載いたします。

 参考例であり、ご使用のプリンターにより作業内容が変化します。

1 必要なものを準備する

- プリンター
- ドライバー CD/DVD
- 接続ケーブル (USB ケーブル)



※製品に添付されているドライバー CD/DVD がご使用の OS に対応しているかご確認ください。

※ドライバー CD/DVD がない場合は、インターネットにて製造メーカーのウェブサイトからドライバーをダウンロードすることもできます。

2 ドライバーのインストール

ドライバー CD/DVD をドライブに入れ、「SETUP.EXE」の実行または、自動再生から起動するメニューの操作に沿ってドライバーをインストールしてください。



3 プリンターの接続

プリンターを接続すると、デバイスが検出され接続及びドライバーが自動でインストールされます。
画面に表示があるときは、表示の手順に沿ってインストールしてください。



ワンポイント

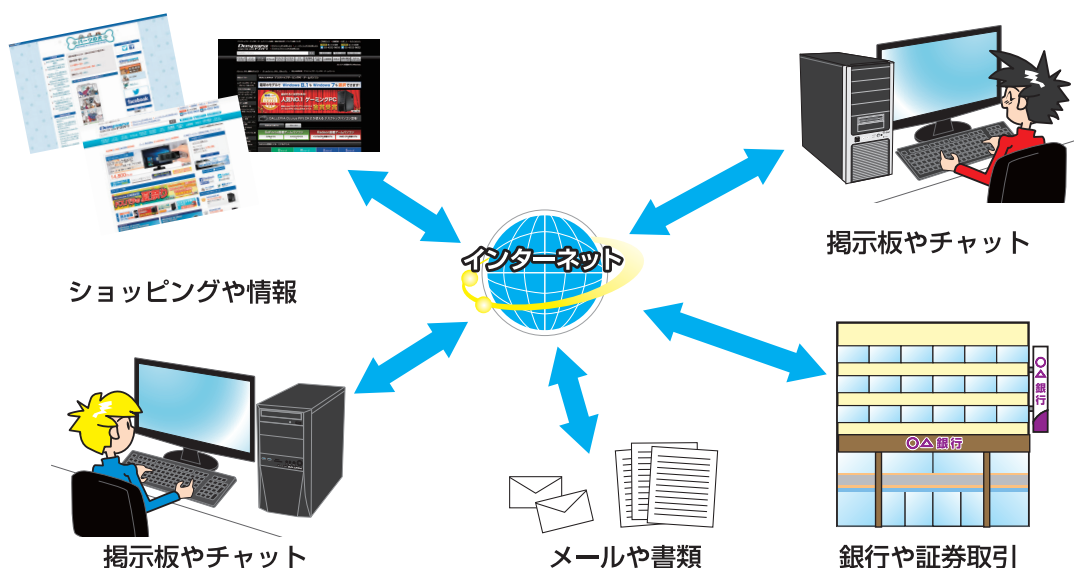
周辺機器によっては、ドライバーのインストール前にパソコンへ接続すると正しく動作しないものがあります。
周辺機器を接続する際は付属されている取扱説明書をよく読み、正しい手順でドライバーをインストールします。

インターネットとは

インターネットとは世界中のコンピューター同士を接続した巨大なネットワークです。

インターネット上にはニュースや商品情報、サービス情報や様々な知識などの、あらゆる情報が公開されています。こうした情報はキーワードから検索することができるため、日常生活から専門分野まで幅広い知識を活用することができます。その他にメールをしたり、ショッピングをしたり、銀行振込や証券取引などを自宅に居ながら行うこともできます。

また情報は見るだけでなく、掲示板やチャットでコミュニケーションをしたり、ウェブページやブログ（インターネットで公開する日記）を作ること、自分から情報を発信することもできます。インターネットをうまく活用して、楽しいパソコンライフを送りましょう！



インターネットの種類

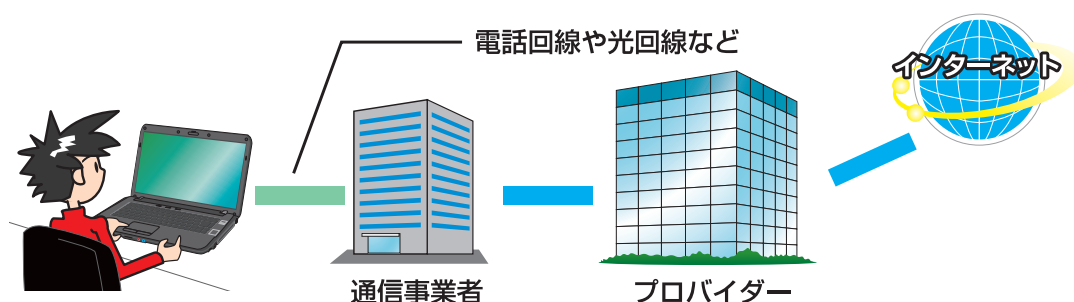
インターネットには様々な接続方法がありますので、ご利用環境に合わせて接続方法をご選択ください。

なお初めてインターネット接続される場合には回線工事が必要になりますが、建物によっては回線工事を行えない場合があります。事前に住宅管理会社などに確認をしましょう。

接続方法	通信速度	特徴
FTTH（光ファイバー）	速い	現状、一番安定して速いデータ通信が可能です。専用の光回線を引く必要があります。
ADSL	普通	電話回線を利用するためサービス提供エリアが広いです。中継局との距離が長いと、データ通信が遅くなります。
CATV インターネット	普通	ADSL に比べてデータ通信が安定しています。CATV（ケーブルテレビ）の専用線が必要です。

プロバイダーと契約

インターネットに接続するには、プロバイダーと契約し、インターネット回線を开通させる必要があります。目的やご利用環境に合わせてプロバイダーと接続方法を選択しましょう。接続方法や通信速度、料金等はプロバイダーによって異なります。詳しい内容は各プロバイダーに直接お問い合わせください。



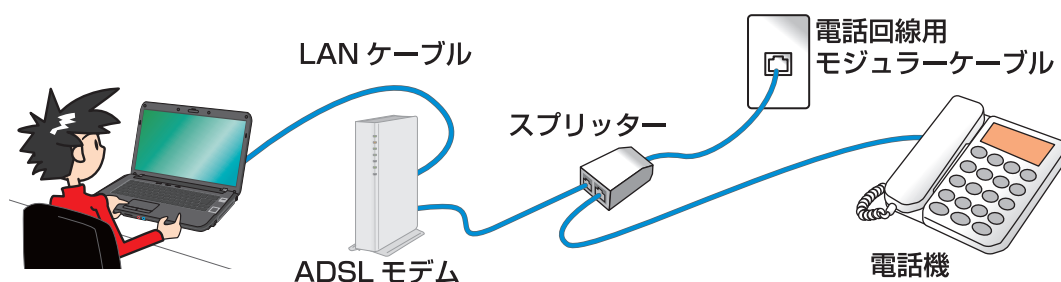
インターネットに接続する

プロバイダーと契約すると、インターネットへの接続に必要な ID やパスワード、メールアドレスなどの設定情報と、接続手順が記載された説明書がプロバイダーより提供されます。

プロバイダーの説明書を参考に接続設定をしてください。

例：ADSL 接続

(下記の接続例は一例であり、ご契約業者により接続方法が違う場合があります)



インターネットを使う上での注意

インターネットは便利な反面、コンピューターウイルスやスパイウェア、不正な接続によりパソコンが被害を受けたり、個人情報を盗まれてしまう場合があります。

これらの被害に対してはセキュリティ対策を行って、自らを守る必要があります。Windows セキュリティセンターやセキュリティソフトなどを設定し、対策をしましょう。



無線 LAN 接続時の注意

無線 LAN は電波を利用して情報のやり取りを行うので、電波の届く範囲であれば自由にインターネットに接続することができます。その反面、電波の届く範囲にいる第三者に通信内容を盗み見られたり、不正侵入されてしまう可能性があります。そのため、無線 LAN を使用する際は必ずセキュリティ対策を行いご利用ください。

セキュリティ対策については、ご使用のアクセスポイント（無線 LAN ルータ）の説明書をご確認ください。

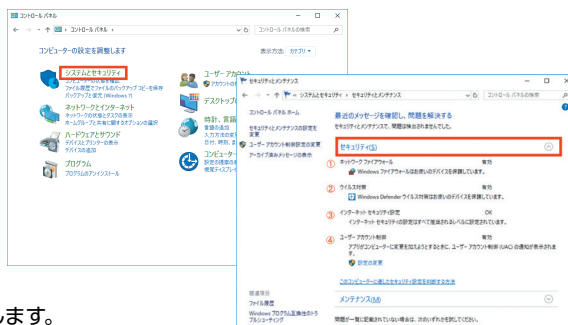


セキュリティとメンテナンスから設定を変更することができます。

[スタート] → [Windows システムツール] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [セキュリティとメンテナンス] → [セキュリティ] を選択します。

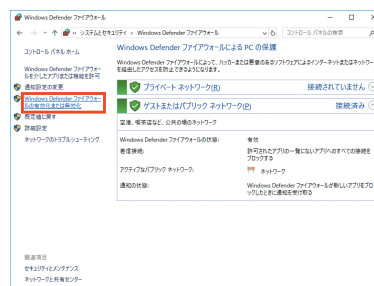
表示された各項目がすべて有効または OK になっていれば、セキュリティ対策が行われています。

有効または OK になっていない場合は、下記を参照し有効にします。



① ネットワークファイアウォール

[スタート] → [Windows システムツール] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [Windows Defender ファイアウォール] → [Windows Defender ファイアウォールの有効化または無効化] の順にクリックし、「プライベート ネットワークの設定」および「パブリック ネットワークの設定」欄の [Windows ファイアウォールを有効にする] にチェックを入れ、[OK] をクリックします。



② ウィルス対策

[スタート] → [設定] → [更新とセキュリティ] → [Windows セキュリティ] → [ウィルスと脅威の防止] → [ウィルスと脅威の防止の設定] の順にクリックし、「リアルタイム保護」および「クラウド提供の保護」欄の スイッチを [オン] にします。「リアルタイム保護」機能は、一時的にオフすることができますが、しばらくオフのままになっていると、自動的にオンに戻されます。

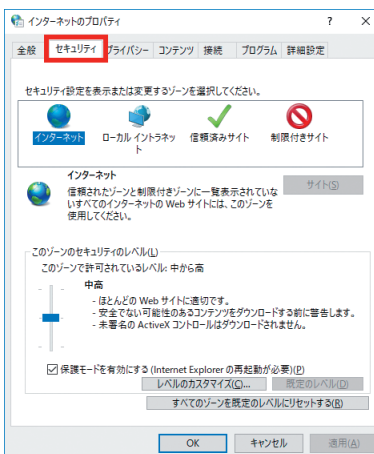


③ インターネットセキュリティ設定

[スタート] → [Windows システムツール] → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット] → [インターネットオプション] の順にクリックし、「セキュリティ」タブを開き、各項目を設定します。

④ ユーザー アカウント制御

[スタート] → [Windows システムツール] → [コントロールパネル] → [ユーザーアカウント] → [ユーザーアカウント制御設定の変更] の順にクリックし、アプリがコンピューターに変更を加えようとするときのユーザー アカウント制御 (UAC) 通知が表示される頻度を 4 段階設定できます。頻度を設定後、[OK] をクリックします。



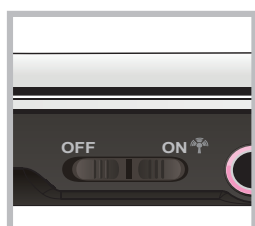
無線 LAN が内蔵されているノートパソコンは、「無線アクセスポイント」を準備することにより、無線 LAN でインターネットに接続できます。部屋の中を自由に移動して、インターネットを楽しみましょう。

無線 LAN の ON・OFF

無線 LAN を使用する場合は、無線 LAN のスイッチを入れましょう。

モデルにより、専用のスイッチが付いているものやキーボードにスイッチが割り当てられているものがあります。

無線 LAN を使用していないときは省電力やセキュリティのために OFF にしましょう。



例：Fn+F2

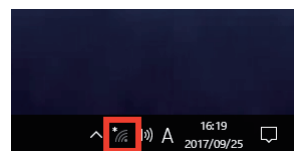
⚠ キーボードにスイッチが割り当てられている場合は「Fn キー」と同時に押し設定をします。

無線 LAN のスイッチやランプを示すマークの一例

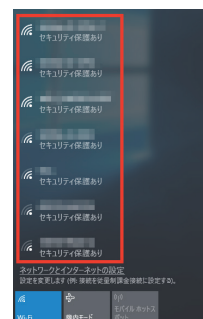


無線 LAN の設定

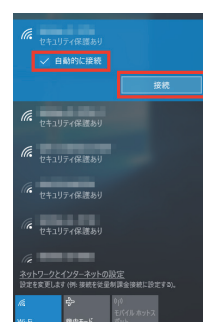
- 1 タスクバーにある [無線 LAN] アイコンをクリックします



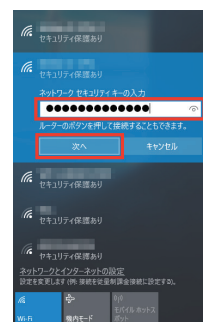
- 2 「アクセスポイント」の一覧が表示されます
接続したい [アクセスポイント] をクリックします。



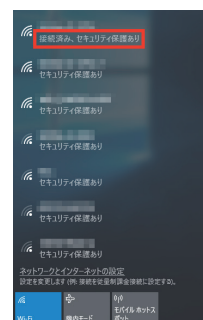
- 3 [自動的に接続] にチェックを入れて
[接続] をクリックします



- 4 「ネットワーク セキュリティ キーの入力」が表示されます
アクセスポイントの [ネットワーク セキュリティ キー] を入力し、[次へ] をクリックします。



- 5 「接続済み、セキュリティ保護あり」と表示されたら、
無線 LAN の接続は完了です



無線 LAN の安全な使い方

無線 LAN は LAN ケーブル配線の必要がなく気軽にインターネットに接続できますが、セキュリティの設定を行わないと非常に危険です。不正利用や盗聴などを防ぐためにセキュリティ設定を行ってください。

セキュリティ設定を行わないと下記のような危険性があります。

- ・個人情報や機密情報を盗まれる
- ・データの削除や改ざんをされる
- ・自分になりすまし不正に情報をインターネットに流される

不正利用とは… 第三者が無断で自分のアクセスポイントに接続し、自分のネットワークやインターネットを利用することです。パソコンに保存している個人情報を盗み出したり、自分になりすまして、違法な行為を自分が行ったようにみせかけることができます。

盗聴とは…………… 不正利用のうち、個人情報、メールのやり取りや閲覧したサイト、インターネットで入力した ID やパスワードなどを第三者が盗み出す行為のことです。

不正利用を防ぐセキュリティ設定

不正利用を防ぐには主に二つの方法があります。

・MACアドレスフィルタリング

MAC アドレスはネットワーク機器に割り当てられている個別の番号です、世界中で同じ MAC アドレスのネットワーク機器はないようになっています。それを利用して、あらかじめアクセスポイントに接続できる MAC アドレスを登録することで、他の接続機器を接続できないようにします。

・SSID の隠蔽

SSID とは、アクセスポイントの識別子（表札のようなもの）です、これを隠蔽する事により第三者が接続の設定をできないようにします。



上記のセキュリティ設定を行うのは、アクセスポイント（無線LANルータ等）で設定を行います。設定方法につきましては、ご使用機器の説明書をご確認ください。

盗聴を防ぐセキュリティ設定

盗聴を防ぐにはデータを暗号化することで防ぎます。暗号化には2種類の規格があります。

・WEP

暗号鍵を指定して暗号化します。40 ビット(半角英数字5文字)のものと104 ビット(半角英数字 13 文字)の物が有り、104 ビットの物の方がより強固になります。しかしながら、WEP は既弱性が確認されており、悪意あるソフトウェアにより解読されてしまいます。そのため、WEP を利用する場合は、MAC アドレスフィルタリングの併用をお勧めいたします。

・WPA / WPA2 (TKIP/AES)

WEP より強固な暗号化規格です。

WPA - AES と WPA - TKIP の2種類があります。WPA - AES の方がより強固なものになり、8 文字から 63 文字か、64 桁の 16 進数 (256 ビット) の暗号鍵を指定して暗号化します。



上記のセキュリティ設定を行うのは、アクセスポイント（無線LANルータ等）とパソコンの両方で設定を行います。アクセスポイントの設定方法につきましては、ご使用機器の説明書をご確認ください。パソコンの設定方法は前ページの『 4. 「ネットワーク セキュリティ キーの入力」が表示されます。』をご確認ください。

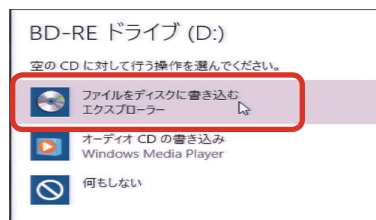
パソコンのデータ保存や音楽・映像メディアを作成することができます。
※光学ドライブが搭載されていない製品もあります。

データの書き込みについて

この項目では、Windows 標準機能でのデータ書き込み方法を説明します。

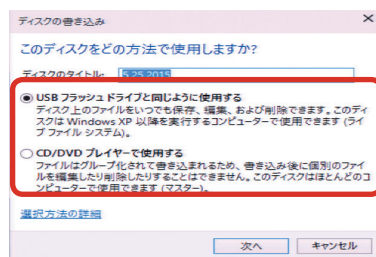
1 書き込み作業の開始

- 空の CD-R/DVD-R のメディアをドライブに入れます。
- 「ディスクユーティリティ」が表示されます。
[データディスク (メディアと書類ボタン)] をクリックします。
下に表示された [CD] をクリックします。



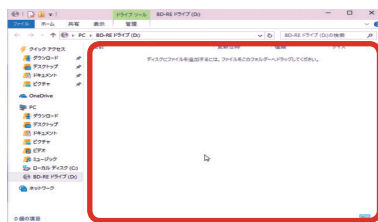
2 ディスクの使用方法を選択します。

- 「USB フラッシュドライブと同じ用に使用する」
ライブファイルシステム形式で書込まれます。
データを気軽に追加したり削除したりできますが Windows
以外の機器で読み込めません。
- 「CD/DVD プレイヤーで使用する」
マスタ形式で書き込まれます。互換性が高く Windows 以外
のプレイヤーなどでも読み込めます。



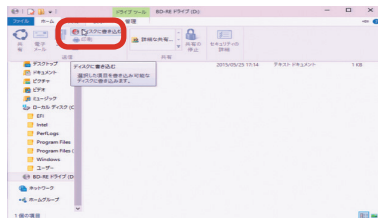
3 保存するファイルを選択します。

ドライブツールに保存したいファイルをドラッグアンドドロップして選択します。



4 書き込みを開始します。

- 「共有」タブをクリックして、「ディスクに書き込む」をクリックします。
- ディスクのタイトルや書き込み速度を決め「次へ」をクリックします。
- ディスクに書き込みが終わったら「完了」をクリックします。



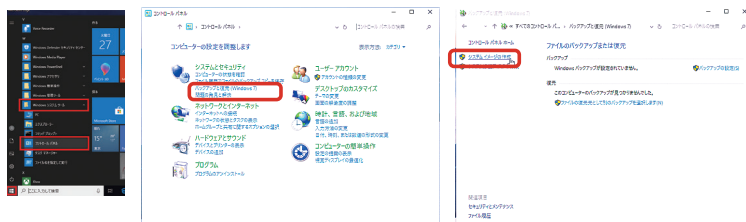
購入時の構成により、ライティングソフトが添付されている場合があります。その際の操作方法は、ライティングソフトに付随するヘルプをご覧ください。

バックアップ方法 (システムイメージバックアップ)

システムイメージバックアップは、システムドライブ全体や任意のドライブやメディアにバックアップすることができます。

1 「システムイメージバックアップ」を起動します

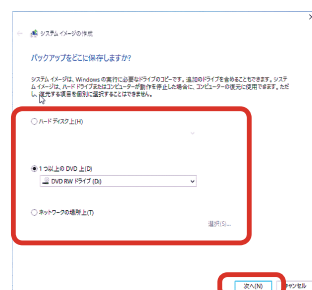
[スタート] → [Windows システムツール] → [コントロールパネル] → [バックアップと復元 (Windows 7)] → [システムイメージの作成] をクリックします。



2 「バックアップをどこに保存しますか？」が表示されます

バックアップしたデータの保存場所を選択して、[次へ] をクリックします。

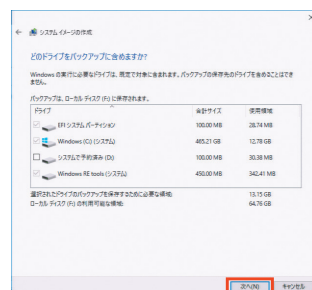
バックアップを保存する場所は、Cドライブ (システムドライブ) 以外を指定する必要があります。ドライブが用意できない場合でも DVD 等のライティングメディアなどで分割して保存することもできます。



3 「どのドライブをバックアップに含めますか？」が表示されます

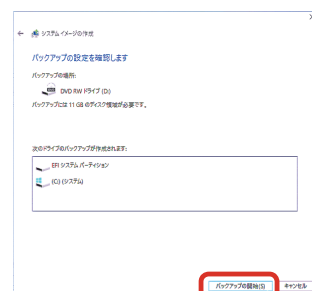
一覧を確認し、[次へ] をクリックします。

バックアップするドライブに「EFI システムパーティション」が表示されます。このドライブは Windows 10 のシステム用のドライブで、コンピュータでは表示されないドライブです。



4 「バックアップの設定を確認します」が表示されます

設定を確認し問題が無ければ [バックアップの開始] をクリックします。

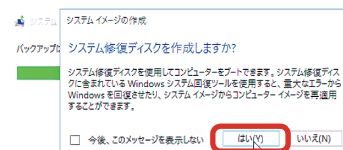


5 「システム修復ディスクを作成しますか?」が表示されます

【はい】 をクリックします。

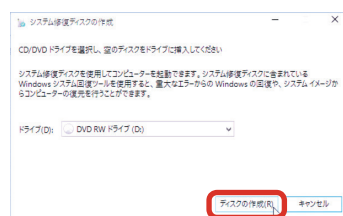
※ Windows のインストールメディアを持っている場合や、以前作成している場合は必要ありません。

システム修復ディスクを作成しておく、Winndows が起動できなくなった場合も、システム修復ディスクから起動してバックアップから、復元する事が出来ます。



6 「システム修復ディスクの作成」が表示されます

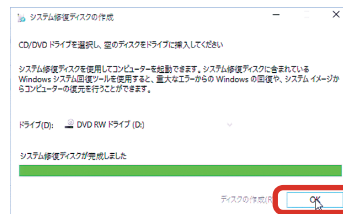
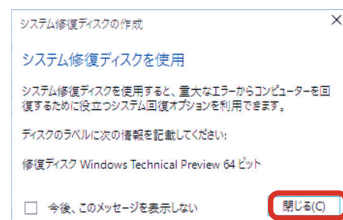
空の CD/DVD - R メディアを光学ドライブに挿入して
【ディスクの作成】 をクリックします。



7 システム修復ディスクの作成が完了します

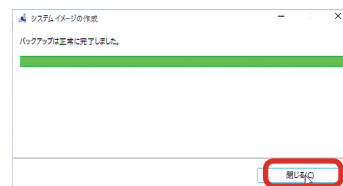
システム修復ディスクの作成が完了すると「システム修復ディスクを使用」が表示されますので [閉じる] をクリックします。

次に [OK] をクリックしてシステム修復ディスクの作成を完了します。



8 「バックアップは正常に完了しました。」が表示されます

【閉じる】 をクリックして、システムイメージ作成を完了します。



2 「コンピューターイメージの再適用」を起動します

[トラブルシューティング] → [詳細オプション] → [イメージでシステムを回復] → [※ご使用のアカウント] → [※アカウントのパスワード] をクリックします。



3 Windows のアカウントを選び、パスワードを入力します

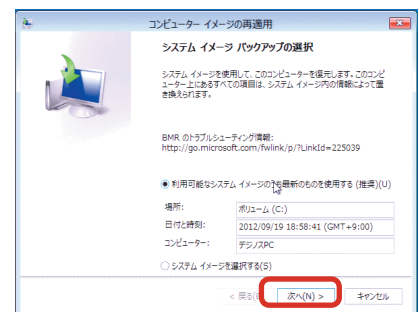
管理者権限のあるアカウントをクリックします。
次にパスワードを入力して「次へ」をクリックします。



4 「システム イメージ バックアップの選択」が表示されます

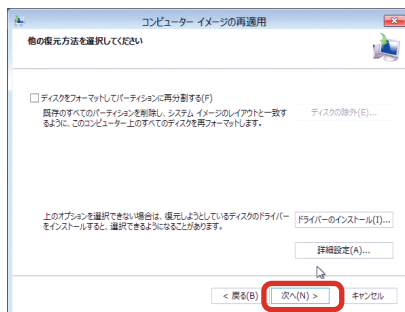
選択されているバックアップデータに問題が無ければ「次へ」をクリックします。

変更したい場合は「システムイメージを選択する」を選択してください。



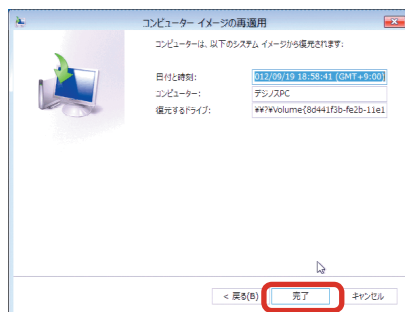
5 「他の復元方法を選択してください」が表示されます

「次へ」をクリックします。

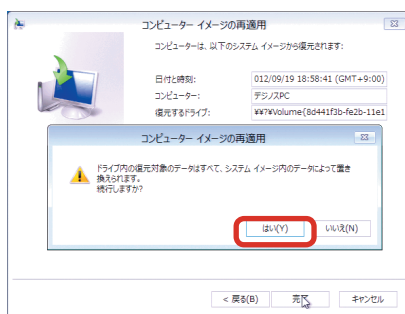


6 「コンピューターは、以下のシステムイメージから復元されます」が表示されます

選択したバックアップデータに問題が無ければ「完了」をクリックします。



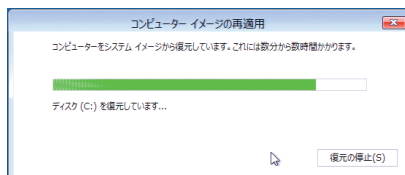
警告メッセージが表示されますので「はい」をクリックします。



7 「コンピューターをシステムイメージから復元しています。これには数分から数時間かかります。」が表示されます

復元が開始されました。復元を完了しましたらパソコンが再起動します。

再起動後、バックアップ対象が復元されていれば完了です。



初期化は下記のような原因でパソコンが起動しなくなった、動作が不安定になった場合に有効な方法です。

- Windows を使用中でパフォーマンスが低下した時
- ドライバーの更新やアプリのインストール後の不具合



ハードウェアの障害が原因で不安定になったシステムに対しては、効果が得られない場合もあります

初期化前に

ご購入後に、増設または交換されたパーツや周辺機器は、すべて取り外して元の状態に戻してください。特に、USB カードリーダー / ライターや USB 接続の外付けストレージ、外付け CD/DVD ドライブを接続した状態では、接続しているストレージが初期化されたり、Windows が正常に初期化できない場合があります。

■ 初期化を行うと、全てのデータが初期化されます

インストールしたアプリケーションソフトやメールの履歴などお客様が作成したデータは、他のメディアや外付けのストレージへ必ずバックアップを取っておいてください。初期化を実行すると、ストレージの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。



データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作 / 誤操作によりデータが消去される恐れがあります。





途中で電源を切るなどして、初期化を中止しないでください。
Windows が起動しなくなったり、データが消失してリカバリーを実行できなくなる恐れがあります

初期化方法

以下の作業は、必ずマイクロソフトアカウントにて行います。

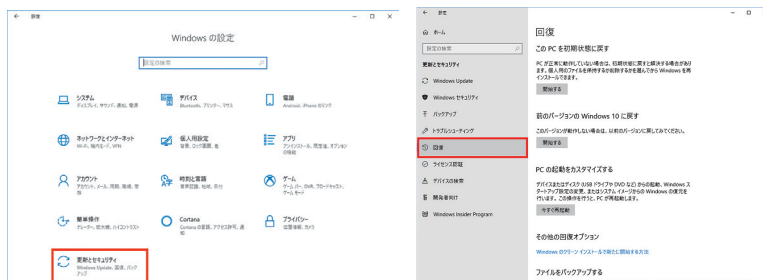
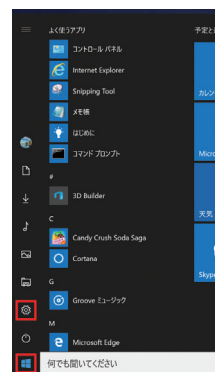
1 「設定」を表示します

「スタート」をクリックして、メニューに表示される「設定」をクリックします。

※ [ Windows キー + [ I キー] を同時に押して設定を表示することができます。

2 「Windows の設定」が表示されます

「更新とセキュリティ」の項目を選択し、次に「回復」をクリックします。



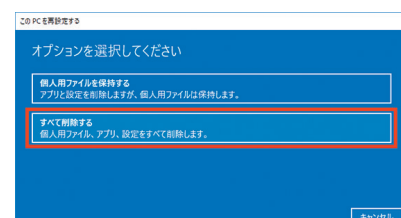
3 「回復」が表示されます

「この PC を初期状態に戻す」にある「開始する」をクリックします。



4 「オプションを選択してください」が表示されます

「すべて削除する」をクリックします。



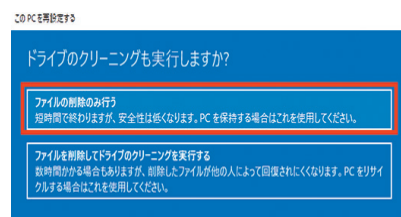
5 ドライブが複数ある場合は、選択画面が表示されます

「Windows がインストールされているドライブのみ」をクリックします。

6 「ドライブのクリーニングも実行しますか？」が表示されます

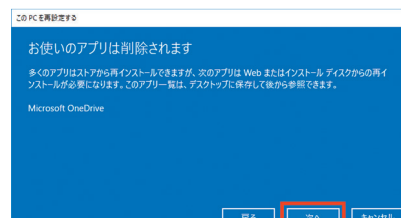
「ファイルの削除のみを行う」をクリックしてください。

初期化作業には 30 分～1 時間前後の時間がかかります。
初期化方法で「ドライブを完全にクリーンアップする」を選択した場合は、約 2～4 時間かかります。



7 「お使いのアプリは削除されます」と表示される場合があります

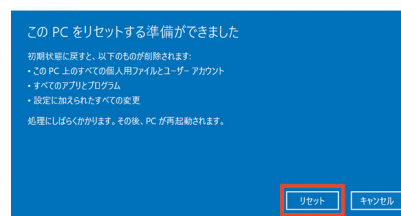
「次へ」をクリックします。



8 「この PC をリセットする準備ができました」が表示されます

「リセット」をクリックして初期化を開始します。

初期化が完了するとパソコンが再起動され、Windows のセットアップ画面が表示されます。

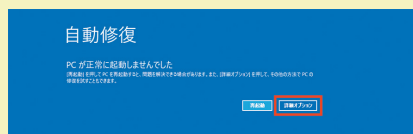


■ Windows が起動できない場合に自動修復メニューから初期化を行う方法

Windows 10 では、Windows が 2 回連続して正常に起動できなかった場合、自動修復が表示されます。そのメニューから初期化を行うことができます。

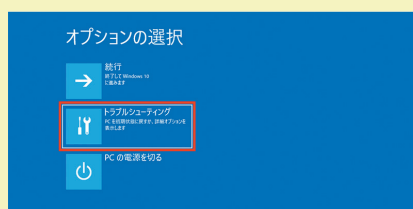
1 「自動修復」が表示されます

[詳細オプション] をクリックします。



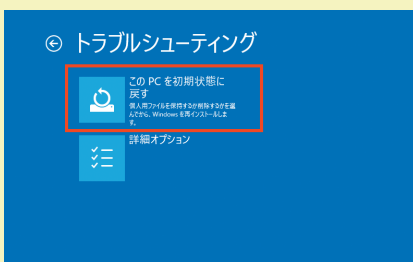
2 「オプションの選択」が表示されます

[トラブルシューティング] を選択します。



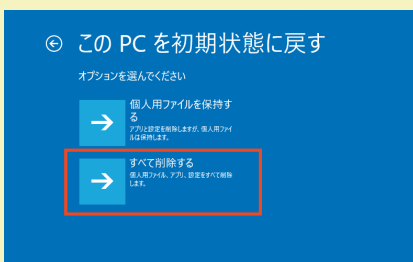
3 「トラブルシューティング」が表示されます

[この PC を初期状態に戻す] をクリックします。



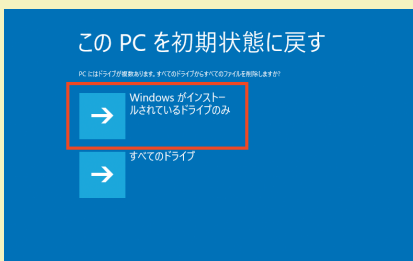
4 「オプションを選んでください」と表示されます

[すべて削除する] をクリックします。



5 ドライブが複数ある場合は、選択画面が表示されます

[Windows がインストールされているドライブのみ] をクリックします。

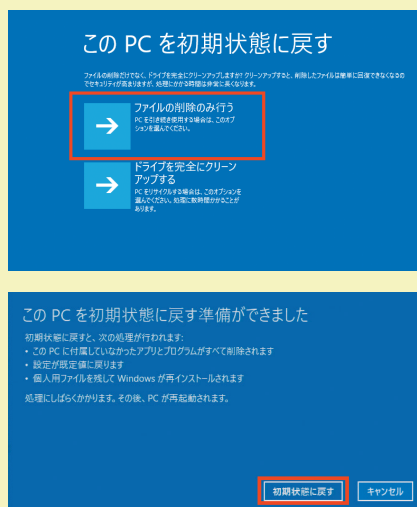


6 「ファイルの削除のみ行う」をクリックします

7 「このPCを初期状態に戻す準備ができました」と表示されます

「初期状態に戻す」をクリックします。

8 PCが再起動され、初期状態に戻ります



ご購入時の状態に戻したい方は

作業前の注意事項



再インストールを行う場合、ハードディスク内のデータは消えてしまいます。ハードディスクに必要なデータがある場合はあらかじめバックアップを行ってください。バックアップ作業は、[49 ページ「バックアップ方法」](#)をご参照ください。

- Windows の初期化（54 ページ）を行います。

Windows 10 のインストールメディアをお持ちの場合は、以下の方法もお試しできます。

1 インストールメディアを挿入します

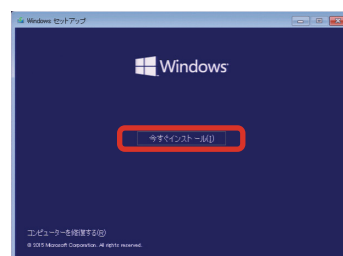
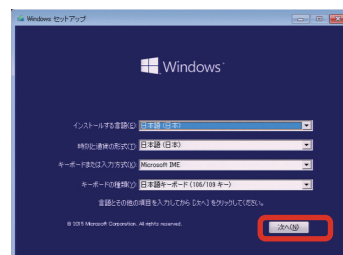
インストールメディアを光学ドライブに挿入し、パソコンを再起動します。

インストールメディアからパソコンを起動します。

「Press any key to boot from CD or DVD」というメッセージが表示された場合は、キーボードの任意のキーを押します。（キーの指定は特にありません。）

「Windows のインストール」が表示されます。

画面の手順にしたがって、インストール作業を進めます。



スタートアップ修復は、システムファイルが見つからなかったり破損しているなど、特定の問題を修正できるWindows 10の回復ツールです。こうした問題があると、Windowsは正しく起動しない可能性があります。スタートアップ修復を実行すると、パソコンの問題がスキャンされ、パソコンが正常に起動できるように問題の解消が試行されます。

ハードディスク内のデータは作業中に何らかの原因により消えてしまう場合があります。必要なデータがある場合はあらかじめバックアップを取りましょう。バックアップ作業は [49 ページ「バックアップ方法」](#) をご参照ください。

スタートアップ修復はインストールメディアやシステム修復ディスク、回復ドライブから起動して行うことができます。インストールメディアの付属しないパソコンをご購入いただいている場合は、システム修復ディスクや、回復ドライブを事前に作成して、ご準備ください。

1 「スタートアップ修復」を起動します

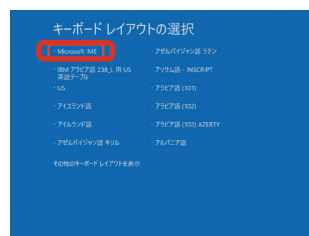
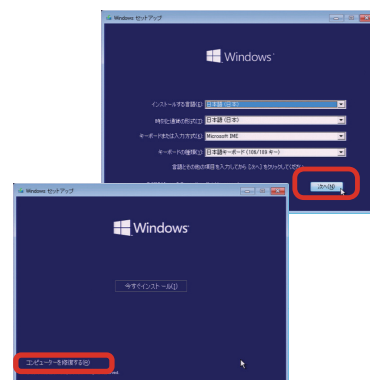
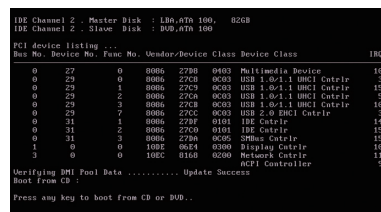
「スタートアップ修復」を起動するには何種類かの方法があります。状況にあった方法を選択してください。

■ インストールメディアからの起動

1. インストールメディアを光学ドライブに挿入して再起動し、インストールメディアからパソコンを起動します。
2. インストールメディアから起動できない場合、BootConfigurationやBootMenuで、光学ドライブから起動する設定を行います。
3. Windows セットアップが表示されるので、ご利用される言語、時刻、キーボードの入力方法、キーボードの種類を指定して[次へ]をクリックします。
4. [コンピューターを修復する]をクリックします。

■ システム修復ディスクからの起動

1. システム修復ディスクを光学ドライブに挿入して電源を入れ、システム修復ディスクからパソコンを起動します。
2. システム修復ディスクから起動できない場合、BootConfigurationやBootMenuで、光学ドライブから起動する設定を行います。
3. システム修復ディスクから起動が始まると「キーボードレイアウトの選択」が表示されますので、[Microsoft IME]を選択します。



2 「オプションの選択」が表示されます

トラブルシューティングをクリックします。



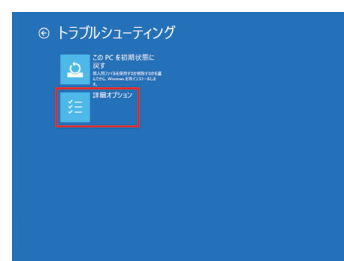
3 「トラブルシューティング」が表示されます

【詳細オプション】をクリックします。

この画面から、下記の操作も行うことができます。

【PC を初期状態に戻す】

この操作を行うと、システムドライブのデータは削除され OS の再インストールが行われます。



4 「詳細オプション」が表示されます

「スタートアップ修復」をクリックします。修復が開始されると、問題を修正するために選択を求めるメッセージが表示される場合や、再起動を求められる場合には、メッセージの内容に沿ってご対応願います。

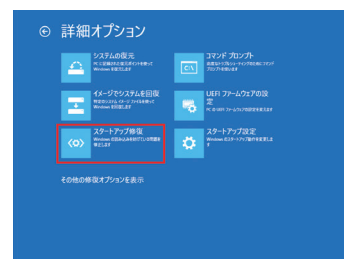
この画面から、下記の操作も行うことができます。

【システムの復元】

PC に記録された復元ポイントを使って Windows を復元します。

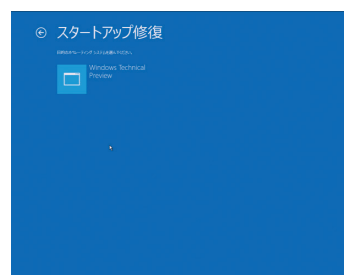
【イメージでシステムを回復】

システムイメージのファイルを使って Windows を回復します。



5 「スタートアップ修復」が表示されます

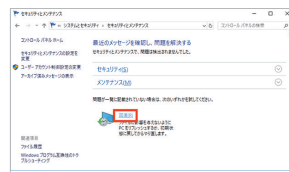
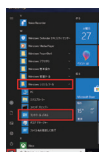
修復する Windows を選択して、スタートアップ修復を開始します。



回復ドライブの作成方法

1 「高度な回復ツール」を起動します

[Windows] → [Windows システムツール] → [コントロールパネル] → [コンピュータの状態を確認] → [回復] の順にクリックします。



2 「回復ドライブ」を作成します

USB フラッシュメモリーをスロットに接続し「回復ドライブの作成」を選択して、作成を開始します。ユーザーアカウント制御「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」が表示された場合は、[はい] をクリックします。）

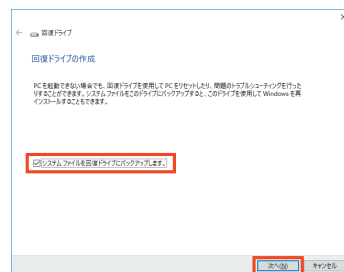


米 USB 2.0 規格 USB フラッシュメモリーのご使用を推奨します。

一部の USB 3.0 規格の USB フラッシュメモリーを USB 3.0 ポートに接続しシステム復元等を行った場合、USB フラッシュメモリー内に復元を試みて失敗する事例が報告されています。やむを得ず USB 3.0 規格の USB フラッシュメモリーをご使用の際は、USB 2.0 ポートに接続または USB 2.0 規格の USB ハブを介して接続します。

3 「回復ドライブの作成」が表示されます

「システム ファイルを回復ドライブにバックアップします。」にチェックが入っていることを確認し、[次へ (N)] をクリックします。作成開始後はメニューに沿って作業を行うことで、回復ドライブの作成は完了します。



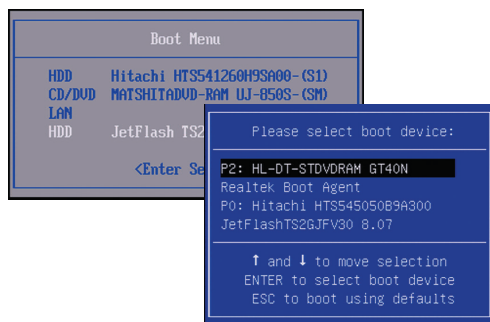
回復ドライブとして作成した USB フラッシュメモリーはなくさないようご注意ください。また、回復ドライブとした USB フラッシュメモリーは複数作ることができます。

回復ドライブの起動方法

Windows に不具合が発生して「システムの回復オプション」が起動できない場合に、予め作成した「システム修復ディスク / 回復ドライブ」から起動して、「システムの回復オプション」を行います。

- ・「システム修復ディスク / 回復ドライブ」を挿入 / 接続を行いパソコンを起動します。

「システム修復ディスク / 回復ドライブ」から起動できない場合は、BootConfiguration や BootMenu で起動ドライブを、光学ドライブや USB フラッシュメモリーに設定して起動します。

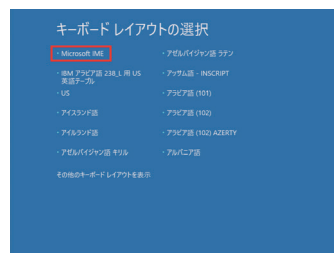


回復ドライブの機能説明

ここでは Windows 10 の回復オプションで表示される項目内容を説明します。

1 キーボードレイアウトを選択します

キーボードレイアウトを選択します。



2 オプションの選択

① 続行

回復オプションを終了して、Windows を起動します。

② デバイスの使用

光学メディアや USB フラッシュメモリなどから再起動します。

③ トラブルシューティング

トラブルシューティングを開きます。

④ PC の電源を切る

パソコンの電源を切ります。



3 トラブルシューティングの選択

① PC を初期状態に戻す

Windows の初期化を行います。Windows がインストールされているドライブのデータを消去し、パソコンを購入時の状態に戻します。

② 詳細オプション

詳細オプションを開きます。



4 詳細オプションの選択

① システムの復元

パソコンに記録された復元ポイントを使って復元を行います。

② イメージでシステムを回復

バックアップイメージを使って復元します。

※バックアップイメージを事前に作成する必要があります。

③ スタートアップ修復

Windows の起動時に発生する問題を診断して修復を行います。

④ コマンドプロンプト

コマンドプロンプトを起動して、作業を行うことができます。

⑤ UEFI ファームウェアの設定

再起動してマザーボードの UEFI (BIOS) の設定画面を表示します。

⑥ スタートアップ設定

Windows のスタートアップ動作を変更します。

[その他の修復オプションを表示] をクリックします。

⑦ 以前のビルドに戻す



はじめに

「故障かな？」と思っても落ち着いて調べてみましょう。パソコン本体の故障ではなく、ソフトウェアや、周辺機器・増設機器に問題が発生している場合もあります。本項目の内容を確認して解決法がないか確認しましょう。

1 画面にエラーメッセージ等が表示されていませんか？

表示されている場合、正確にメモしましょう。（デジタルカメラなどで撮影しておくとも便利です）サードウェーブサポートセンターにお問い合わせの際に役に立ちます。メッセージ以外にもエラー音（ピーと言う電子音）や、発生状況（どのソフトや作業をしている時に発生したのか）をできるだけ詳しくメモしましょう。

2 不具合の発生前に、ソフトウェアのインストールや周辺・増設機器の追加をしていませんか？

該当するものがあつた場合は、取り付けが正しく接続されているか確認しましょう。それでも改善しない場合は、接続した機器を一旦取り外してご購入時の状態に戻し確認しましょう。

3 ソフトウェア実行中に問題が発生した場合

ソフトウェアのマニュアルを参照したり、ソフトウェアのサポートセンターに相談してみましょう。解決法が見つかるかもしれません。

4 該当項目を探しましょう

次ページ参照。

5 お困りごとと解決メニューで診断してみましょう

弊社ウェブサイトのお困りごとと解決メニューにて診断を行い改善方法を行ってみましょう。

<http://www.diginnos.co.jp/spt/check>

QRコード⇒



6 オンライン FAQ で該当項目を探しましょう

弊社ウェブサイトのFAQにて、よくあるご質問の解決案や対応方法を掲載しています。

<http://www.diginnos.co.jp/spt/faq>

FAQ
QRコード⇒



7 サードウェーブサポートセンターへ相談しましょう

上記を確認しても改善できない場合は、サードウェーブサポートセンターまでご相談ください。連絡先は裏表紙「サポート案内」をご参照ください。また、お問い合わせの際は購入時の書類や「製造番号」（本書18ページ「箱の中身を確認する」をご参照ください）をお手元にご用意の上ご連絡ください。



1. 「異音が出た」、「焼けたような匂いがした」などの場合はすぐに電源を切り電源ケーブルをコンセントから抜いてください。故障やけがの原因となります。
2. お客様の取り付けミスなどによる不具合の場合は、保険に加入されている場合を除き、保証期間内でもサポートを承れない場合があります。
3. 改造など弊社規定の使用法以外でご利用されて不具合が発生した場合は、保証期間内でもサポートを承れない場合があります。

不具合対処一覧		ページ
困ったときは	はじめに	63
	用語の説明	65
パソコントラブル 解決手順	電源が入らない	66
	作業中にフリーズする・ブルースクリーンになる	67
	インターネットにつながらなくなった	68
パソコントラブル FAQ (BIOS[UEFI] ～ Windows 起動前)	ディスプレイに何も表示されない	71
	[Reboot and Select proper boot device or Insert Boot Media in Selected Boot device and press a key] と表示されて、先に進まない	71
パソコントラブル FAQ (Windows 起動後)	画面がにじむ・画面の比率がおかしい (画面の解像度設定)	72
	音が出ない (サウンドの設定)	72
	増設したハードディスクやフラッシュメモリが認識されない (記憶装置のパーティション設定)	72
パソコントラブル FAQ (ハードウェア)	光学ディスク (CD-ROM、DVD など) が取り出せなくなった	73
	時計が合っていない	73
	夏場など、熱い時期に頻繁にフリーズする (パソコンが停止して操作不能になる)	73
パソコントラブル FAQ (その他)	特定の文字が入力できない (キーボード操作について)	74
	プロダクトキー入力が正しく行えない	74
	漢字入力ができない	74
	フラッシュメディアの安全な取り外しを行うと、カードリーダーが認識しなくなる	74
	ハードディスクの空き容量を確かめるには	75
	ハードディスクの容量が広告の表示よりも少ない	75
	システムに表示されるメモリ容量が搭載容量より少ない	75
	液晶ディスプレイのドット抜けについて	76
改善のための 操作方法	システムの復元	76
	Windows をセーフモードで起動する	76
	プログラムのアンインストール	77
	タスクマネージャー	77
サードウェーブサポートセンターよりお客様へ		78

用語の説明

「困ったときは」で使用する一部用語を説明します。

● BIOS (バイオス、Basic Input/Output System)

UEFI (ユーイーエフアイ、Unified Extensible Firmware Interface) とは

パソコンの土台となるマザーボードというパーツに入っている、ハードウェアの認識などの基本的な操作を行っているソフトウェアです。

● OS (オーエス、Operating System) とは

基本的な機能を提供し、コンピューターシステム全体を管理するソフトウェアです。現在一般的なものに Microsoft 社製の Windows シリーズと Apple 社製の Mac OS シリーズがあります。

● ブルースクリーンとは

Windows でシステムにエラーが発生した場合に起こる、青い画面に白い文字列でエラーメッセージが表示される画面です。ブルースクリーンはソフトウェア・ハードウェアそれぞれに不具合が発生した場合以外にも、ソフトウェアとハードウェアの相性で発生する場合があります。

● フリーズ (Freeze) とは

パソコンの動作が停止し、「操作できなくなった」「固まってしまった」「ハングアップした」状態を表します。フリーズはソフトウェア・ハードウェアそれぞれに不具合が発生した場合や、ソフトウェアとハードウェアの相性、電源不足で発生する場合があります。

● 熱暴走とは

半導体部品が排熱不良や過剰負荷などの原因で異常発熱し、正常に動作しない状態を指します。冷却ファンなどにホコリが堆積することで発生する場合があります。

● ハードウェア (Hardware) とは

光学ドライブ、ハードディスク、マザーボード、本体ケース、冷却ファンなどのパソコンを構成しているパーツ (部品) のことです。

● ソフトウェア (Software) とは

パソコンはハードウェア (パソコン本体) だけでは動作しません。基本ソフトウェアが必要です。また、様々な作業をさせるために、必要に応じたアプリケーションソフトをインストールする必要があります。

基本ソフトウェア：オペレーティングシステム (Windows、Mac OS、UNIX など)

アプリケーションソフト：ワープロソフト、表計算ソフトなど

● インストール (Install) とは

パソコンに OS やアプリケーションソフト、デバイスドライバーなどソフトウェアの設定を行い、プログラムを実行できる状態にすることです。

● アンインストール (Uninstall) とは

コンピューターにインストールされたアプリケーションソフトを削除し、インストール前の状態に戻すことです。

● ドライバー (Driver) とは

OS 上で各種パーツを正常に動作させるためのソフトウェアです。ドライバーをインストールしていない場合や正常に動作していない場合には、音がでなかったり、インターネットに接続ができません。

電源が入らない

① 電源環境・ケーブル接続の確認

- ・付属のアダプターを使用していない場合は、正しい物に交換しましょう。
- ・アダプターとバッテリーを一旦取り外して、再度接続してみましょう。
- ・バッテリーを外してアダプターだけ接続してみましょう。※
- ・アダプターを外してバッテリーだけ接続してみましょう。※

※どちらかを外して問題が解決した場合は、外した方に何らかの問題があることが考えられます。サードウェーブサポートセンターへお問い合わせください。

② 増設機器の取り外し

機器が接続されている場合に、組み合わせの相性により、正常に起動しない場合があります。周辺機器（外付けのハードディスクや USB メモリーなど）や、SD・MMC・MS などのフラッシュメモリー、増設メモリーがある場合は、取り外した状態で正常に起動するか確認してみましょう。

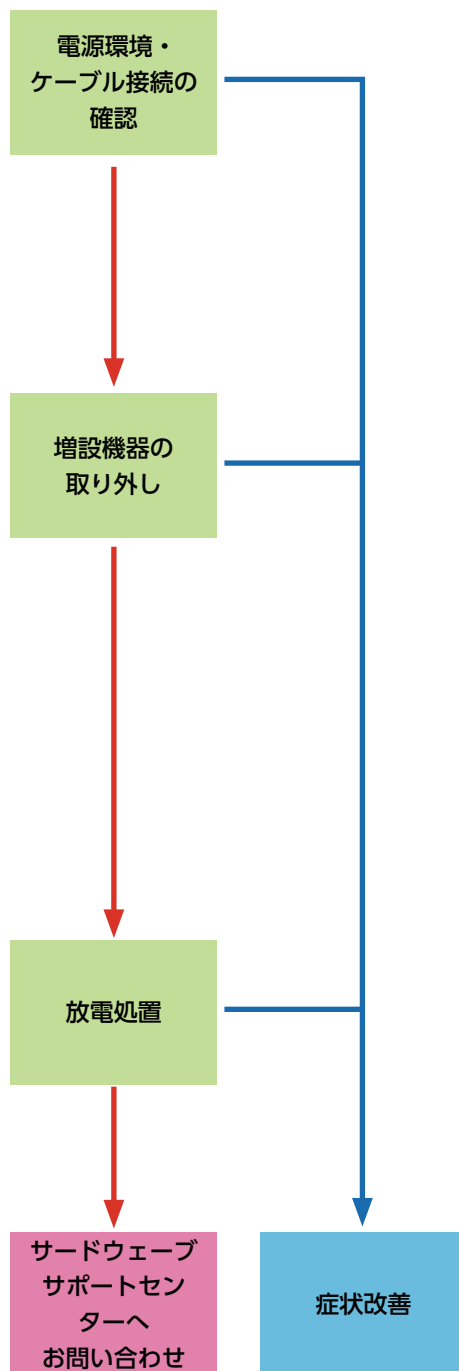


③ 放電処理

通常の手順で電源を切らなかった場合、電源制御のコントローラが停止している場合があります。下記の手順に沿って放電処理を行ってください。

- ・電源ケーブル・AC アダプターを取り外します。
- ・バッテリーを取り外します。
- ・電源スイッチを5回程押します。
- ・12 時間程放置します。
- ・放置後に「①電源環境・ケーブル接続の確認」の手順で動作確認をしてみましょう。

解決した場合
解決しない場合
作業が困難な場合



作業中にフリーズする・ブルースクリーンになる

操作ができない状況になってしまった場合には、あわてて電源を切ったり、むやみにマウスのボタンやキーボードのキーを押したりせず、5分ほど放置してください。なんらかのメッセージが表示された場合はメッセージを書き留めてください。

状況が変わらず改善しない場合は、[77 ページ「タスクマネージャー」](#)を確認してください。

それでも変わらない場合は、電源スイッチを4秒以上長押しして電源を切ってください。

① 電源環境・ケーブル接続の確認

② 増設機器の取り外し

[前ページ「電源が入らない①②」](#)を確認してみましょう。

③ セーフモード

Windows を最低限必要な機能だけで起動するモードです。セーフモードで Windows が起動するか確認してみましょう。

参照：[76 ページ「Windows をセーフモードで起動する」](#)

④ システムの復元

Windows のシステムを、不具合が発生する前の状態に戻す機能です。セーフモードの起動ができた場合には、システムの復元を行うことで改善されるか確認してみましょう。

参照：[76 ページ「システムの復元」](#)

⑤ Windows の初期化

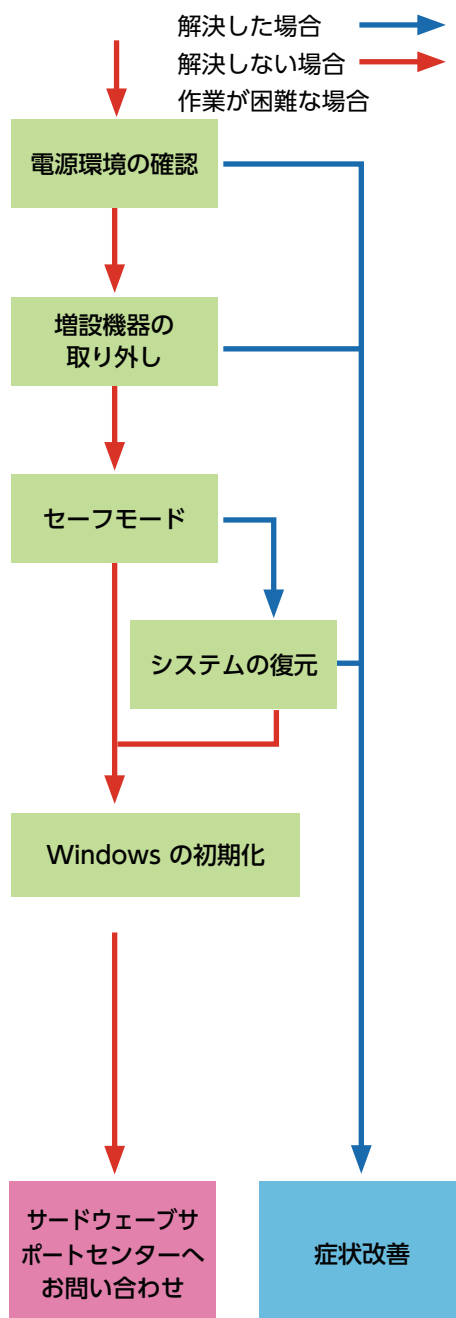
Windows を購入時の状態に戻します。

Windows を初期化しましょう。

参照：[本書 54 ページ「Windows の初期化方法」](#)

Windows の初期化を行うと、データは全て

削除されるので、予めご了承ください。



インターネットにつながらなくなった

急にインターネットにつながらなくなる場合には、さまざまな原因が考えられます。
ここでは一般的な改善案をご案内します。

なお初めてインターネットの設定をされる方は、
[41 ページ「インターネット接続」](#)を参照して設定をしましょう。

解決した場合 →
解決しない場合 →
作業が困難な場合 →

① LAN ケーブル接続の確認

LAN ケーブルの接触不良や LAN ケーブル自体の不具合が原因
となっている場合があります。

ルーター・モデム側とパソコン側の両方のケーブルを接続し直
すことで改善されるか確認してみましょう。

LAN ケーブルを複数お持ちの場合は、別の LAN ケーブルを接
続して確認してみましょう。

なお無線をご利用の場合は、まず有線で接続してインターネッ
トに接続できるか確認してみましょう。

② ネットワーク接続環境の確認

ルーター・モデムに複数のパソコンを接続していると、システ
ムが競合してインターネットに接続できない場合があります。

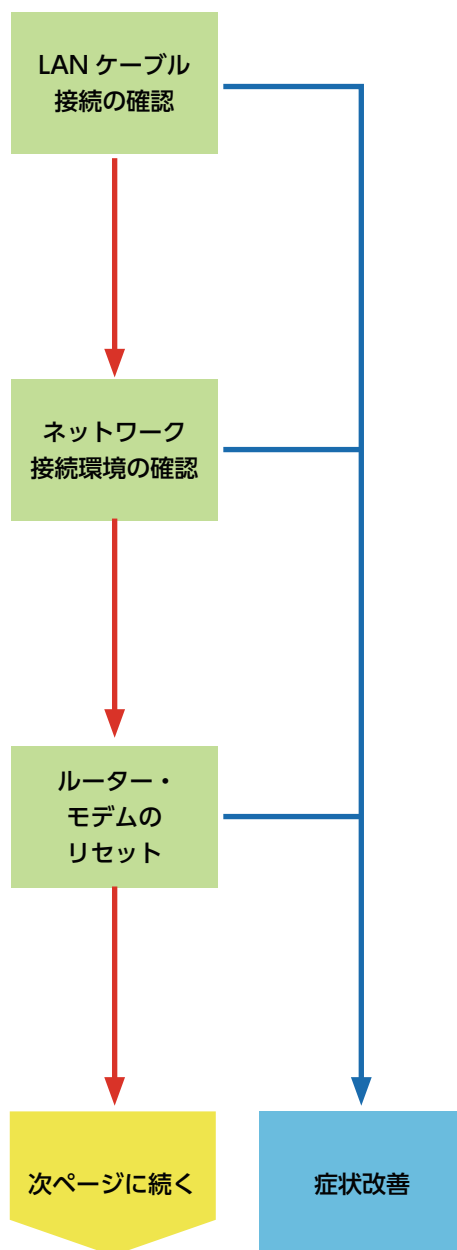
他のパソコンも接続している場合には一時的に取り外し、つな
がらないパソコンだけを接続してみましょう。

③ ルーター・モデムのリセット

ルーター・モデムの設定に不具合が発生している場合があります。
す。

ルーター・モデムの取扱説明書を確認して、設定をリセットし
てみましょう。

また、リセットを行っても設定が残ってしまう場合があります
ので、接続している機器を全て取り外して、ルーター・モデム
の電源を入れ直してみましょう。



④ 導入ソフトウェアの確認

インストールしたソフトウェアが原因となっている場合があります。

インターネットにつながらなくなる直前に、インストールしたソフトウェアがある場合には、一旦削除してみましょう。

⑤ ファイアウォールの確認

Windows のファイアウォールが誤作動している場合があります。

ファイアウォールを一時的に無効にすることでインターネットに接続できるか確認してみましょう。

接続できた場合には、別途ファイアウォールやセキュリティソフトを導入し、ウイルスやスパイウェアからデータを守りましょう。

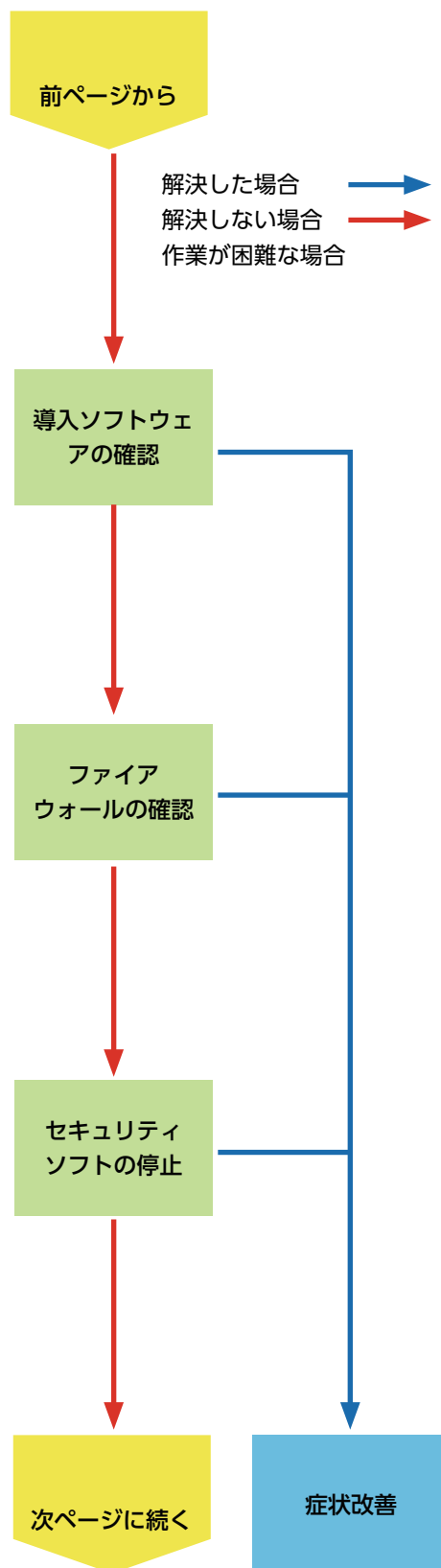
参照： [44 ページ「① ネットワークファイアウォール」](#) を有効にします

⑥ セキュリティソフトの停止

ウイルススキャンソフトなどのセキュリティソフトを利用している場合、インターネットの接続が妨げられることがあります。

セキュリティソフトを一時的に停止することで、インターネットに接続できるか、確認をしてみましょう。

セキュリティソフトの停止方法については、ソフトウェアの販売元にお問い合わせください。



⑦ プロバイダーに確認

ご利用のプロバイダーによっては特別な設定が必要な場合や、インターネットの回線自体に不具合が発生している場合もあります。

ご利用になっているプロバイダーのサポートまで、設定や回線状態などについて確認してみましょう。

⑧ ネットワークドライバーの入れ直し

ネットワークに接続するためには、ネットワーク機器を動作させるためのソフトウェア（ネットワークドライバー）が正常に動作している必要があります。

ネットワークドライバーがインストールされていない場合や、正常に動作していない場合にはインターネットに接続できません。

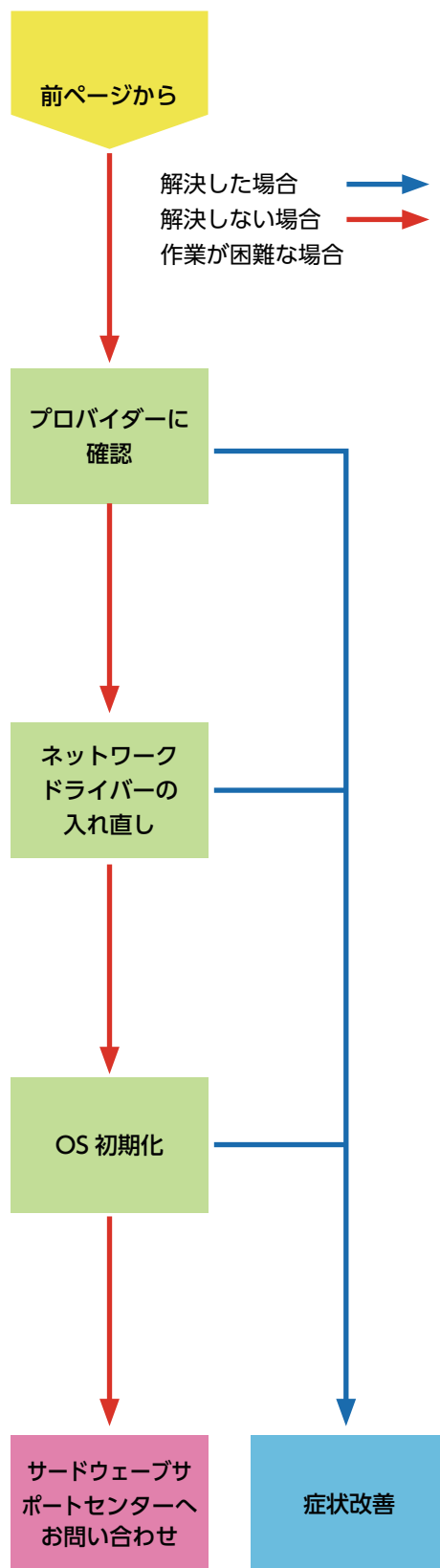
ネットワークドライバーは付属のドライバー CD/DVD に入っています。

⑨ OS 初期化

Windows をインストールし直して、Windows を購入時の状態に戻します。



OS の初期化行くと、データは全て削除されるので、予めご了承ください



■ ディスプレイに何も表示されない

ディスプレイに何も表示されない場合は、様々な要因が考えられます。

・ ディスプレイの輝度（明るさ）が小さくなっている場合

Fn キーと特定のキーの組合せで設定を変更します。（購入時の仕様により組合せのキーは変わります） [32 ページ「キーボードの使い方」](#) を参考に確認しましょう。

・ ディスプレイの省電力状態が働いている場合

キーボードのキーやタッチパッドを操作してみましょう。

・ パソコンがスリープ状態に入っている場合

キーボードのキーやタッチパッドを操作して変わらない場合は電源スイッチを押してみましょう。

・ 外部ディスプレイに表示が設定されている場合

Fn キーと特定のキーの組合せで設定を変更します。（購入時の仕様により組合せのキーは変わります） [32 ページ「キーボードの使い方」](#) を参考に確認しましょう。上記を試して改善できない場合は [66 ページ「電源が入らない」](#) を確認しましょう。



■ 「Reboot and Select proper boot device or Insert Boot Media in Selected Boot device and press a key」と表示されて、先に進まない

「再起動するか、適切な起動デバイスを選択または起動メディアを挿入した状態で、何かキーを押してください」という内容です。

この症状が発生する主な原因として、起動デバイスであるハードディスクの中に、起動できる OS が入っていない場合があります。

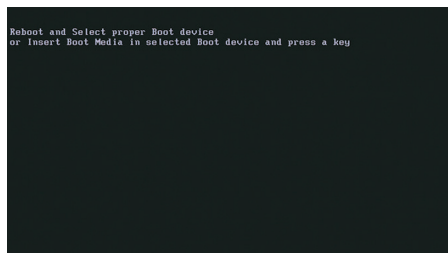
1. 電源環境の確認・増設機器の取り外し

[66 ページ「電源が入らない①②」](#) を確認してみましょう。

2. 光学ドライブにディスクが入っている場合は取り出します。

3. OS のシステムファイルが壊れている場合があります。

[54 ページ「Windows の初期化方法」](#) を参照して OS を初期化しましょう。



改善されない場合にはハードウェア不具合の可能性が考えられます。

その場合は、サードウェーブサポートセンターまでお問い合わせください。

■ 画面がにじむ・画面の比率がおかしい (画面の解像度設定)

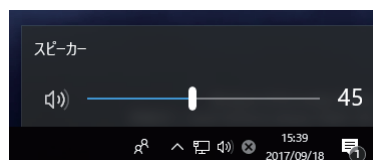
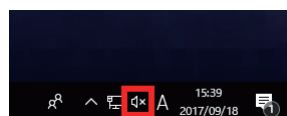
画面表示がにじんでいたたり、比率がおかしい場合には、ご利用のディスプレイが適切な解像度に設定されていない場合があります。

[39 ページ「画面解像度の設定」](#)を参照して設定を確認し、正常に表示されるか確認してみましょう。

■ 音が出ない (サウンドの設定)

まず、音が鳴らない際は内蔵スピーカが壊れていないか、ヘッドホンを接続して確認しましょう。ヘッドホンをつなげて音が出ない場合には、音量設定の音量レベルが低かったり、ミュートに設定されている場合があります。

右下のタスクトレイから音量調節ツール (スピーカマーク) をクリックして起動し、確認してみましょう。

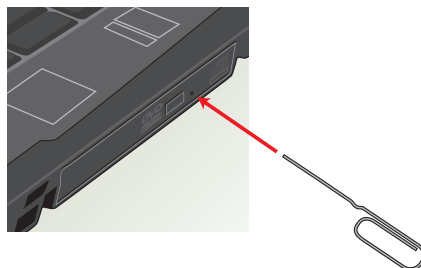


■ 光学ディスク (CD-ROM、DVD など) が取り出せなくなった

アプリケーションのエラーなどの原因で光学ディスクが取り出せなくなったときは、「コンピュータ」内にある、光学ディスクドライブを示すアイコンを右クリックして、「取り出し」をクリックしてください。

それでも取り出せないときは、長さ 4cm 程度の細い針金（大きめのゼムクリップを伸ばしたものなど）を用意して、以下の手順でディスクを取り出してください。

1. パソコンの電源を切ります。
2. 光学ドライブのイジェクトボタン横にある直径 2mm ぐらいの小さな穴に、用意した針金を入れて押し込みます。（緊急イジェクトホール）
3. ディスクトレイが 1cm 程度出てきますのでトレイを静かに引きし、ディスクを取り出し、ディスクトレイを静かに押して閉めます。



■ 時計が合っていない

時計を合わせてもすぐにずれてしまう場合は、[裏表紙「サポート案内」](#)を参照し、サードウェーブサポートセンターまでお問い合わせください。

■ 夏場など、暑い時期に頻繁にフリーズする (パソコンが停止して操作不能になる)

パソコンパーツの多くは動作時に発熱します。パソコンを使用する部屋の温度が高すぎる、通風口をふさいでしまう、CPU クーラーにホコリが溜まり冷却を妨げてしまうなどの要因によりパソコン内部の冷却が十分に行えず、内部温度も過剰に上昇し、正常動作に適さない温度に達します。

温度上昇によりフリーズや、正常に動作しなくなる状態をパソコンが熱暴走を起こすといえます。

1. [5 ページ「安全のために」](#)を参照してパソコンの周りを確認しましょう。
2. 内部にホコリが溜まってしまった場合、ドスパラ全店及びサードウェーブサポートセンターにて有償クリーニングを承ります。また、DJ メールマガジンご購読の方はお持込みいただくことでパソコンの内部クリーニングを無料で行います。詳しくは下記の WEB またはサードウェーブサポートセンターまでご相談ください。<http://www.dospara.co.jp/cln>



■ 特定の文字が入力できない (キーボード操作について)

「Num Lock」が有効になっているとアルファベットキーの一部の入力がテンキー入力になり、アルファベットが入力できなくなります。「Num Lock」を無効にしましょう。

32 ページ「[キーボードの使い方](#)」を参考に確認しましょう。



■ プロダクトキー入力が正しく行えない

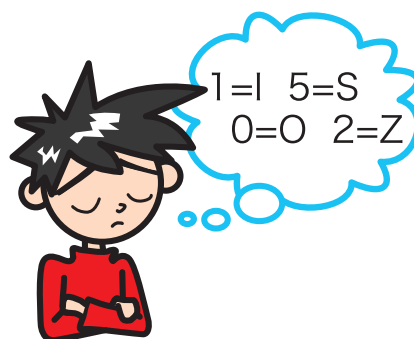
プロダクトキーの入力画面で特定のキーが入力できない場合や、「プロダクトキーが無効です」と表示される場合には、誤った文字を入力されている可能性があります。

プロダクトキーの入力画面では、使用されない文字は入力できません。

使用されない数字 [1、5、0]

使用されない文字 [A、E、I、L、N、O、S、U、Z]

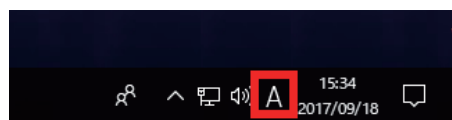
またプロダクトキーの文字は小さいため、[6]と[G]、[8]と[B]など、見間違えやすい文字もありますので、[20 ページ「プロダクトキーについて」](#)を参照して確認してみましょう。



■ 漢字入力ができない

キーボード左上に「半角／全角」と印刷されたキーがあります。Windows 上で漢字を入力するときは、このキーを押すごとに日本語入力とアルファベット入力が交互に切り替わります。

このとき IME ツールバーの左側に日本語モードなら「あ」、英数モードなら「A」と表示され、入力モードが確認できます。

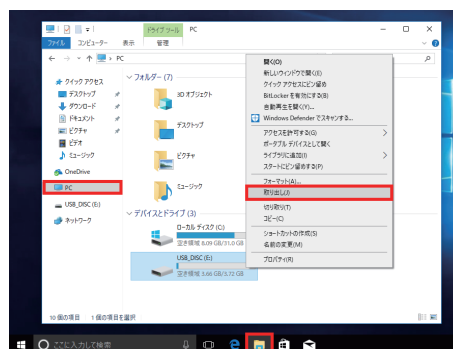


■ フラッシュメディアの安全な取り外しを行うと、カードリーダーが認識しなくなる

本体に内蔵されているカードリーダーは一つのUSBカードリーダーとして認識されています。

タスクトレイにあるハードウェアの安全な取り外しで、このカードリーダーを取り外すとカードリーダー自体を取り外したことになります、再起動するまで認識されなくなります。

カードリーダーに挿入したメディアを取り外す場合には、[エクスプローラー] → [PC] の順にクリックし、該当ドライブを右クリックして[取り出し]を行いましょう。

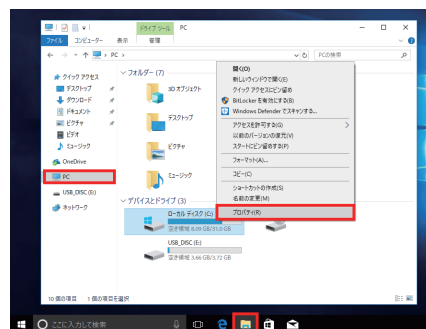


■ ハードディスクの空き容量を確かめるには

空き容量を確かめるには、[エクスプローラー] → [PC] の順にをクリックして開き、確かめたいフロッピーディスクやハードディスクを右クリックして開いたメニュー画面の[プロパティ]をクリックしてください。ディスクのプロパティが開き、使用領域や空き領域が表示されます。

ハードディスクは常に 15% 以上の空き容量があると良いでしょう。

※ハードディスクの空き容量が 15% 以下になると、デフラグができなくなります。



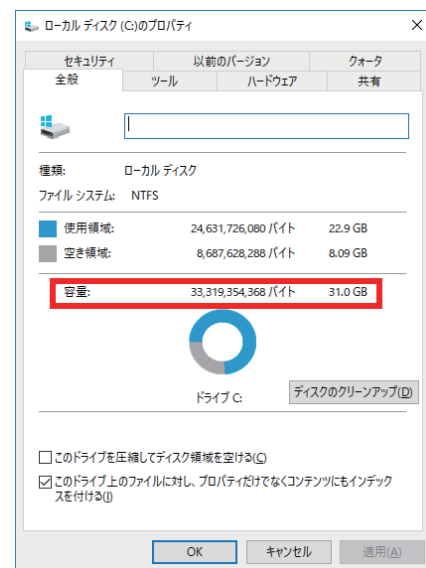
■ ハードディスクの容量が広告の表示よりも少ない

Windows でハードディスクの容量を表示すると、以下の 2 つの理由により、広告やお店の表示よりも少なくなります。

ひとつは、ハードディスクには「Save to Disk」という、システムの状態を一時的に保存する領域が設けてあり、この領域は Windows には認識されないため、この領域の分だけ容量が少く表示されます。

もうひとつは、広告などで表示している容量と、Windows で表示される容量は、計算方法が異なるためです。広告などの表示では 1MB (メガバイト) は $1,000 \times 1,000$ バイトとして計算されています。

一方、Windows は 1MB を $1,024 \times 1,024$ バイトで計算していますので、結果として全体の容量が少く表示されます。



■ システムに表示されるメモリ容量が搭載容量より少ない

チップセット内蔵ビデオを使用するモデルの場合、メインメモリから最大 512MB をビデオメモリとして使用します。

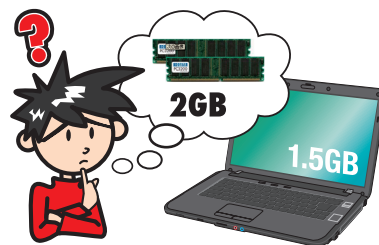
システムに表示される容量は、メインメモリからビデオメモリとして動画再生や 3D 描画に使用する容量を差し引いた容量となります。

■ 液晶ディスプレイのドット抜けについて

液晶ディスプレイ (LCD) は、非常に高精度な技術にて製造されており、

ごく僅かにドット抜け (点灯しない又は常時点灯する画素) が発生することがございますが、LCD の特性であり、現在の製造技術では完全に無くすることはできません。

また、この数は自然増減することがありますが、これらは LCD の特性によるもので故障や初期不良品ではございません。



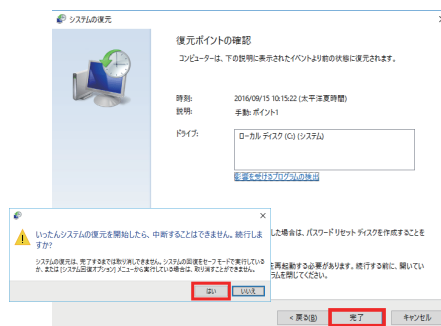
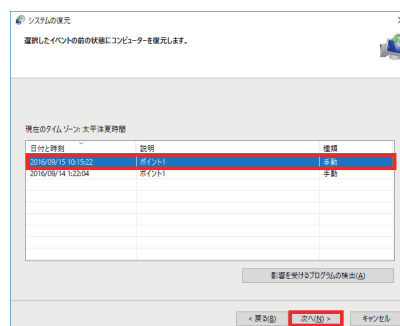
■ システムの復元

1. 「システム ファイルと設定の復元」を表示させます。

- [Windows] キー、[Pause] キーを同時に押し、[システム] を開きます。[システムの保護] をクリックします。
- システムのプロパティ、保護タブが表示されます。[システムの復元 (S)] → [次へ] の順にクリックします。
- 希望の復元ポイントを選択して、[次へ] をクリックします。
- [別の復元ポイントを表示する (M)] にチェックを入れると、過去の復元ポイントも一覧表示されます。該当のポイントを指定して復元することもできます。

2. 「復元ポイントの確認」が表示されます。

- 復元ポイントの内容を確認し、[完了] をクリックします。
- 続行の可否の選択が表示されるので、[はい] をクリックします。
- システムの復元後、自動的に再起動します。



■ Windows をセーフモードで起動する

1. 「オプションの選択」を表示させます

[スタート] → [設定] → [更新とセキュリティ] → [回復] の順にクリックし、「PC の起動をカスタマイズする」欄の「今すぐ再起動する」をクリックします。

「オプションの選択」が表示されます。

2. 「スタートアップ設定」を表示させます

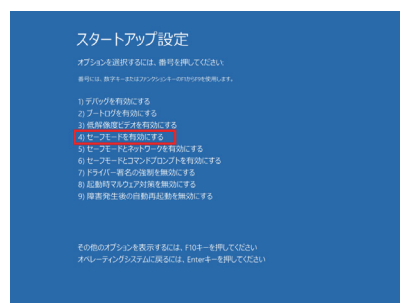
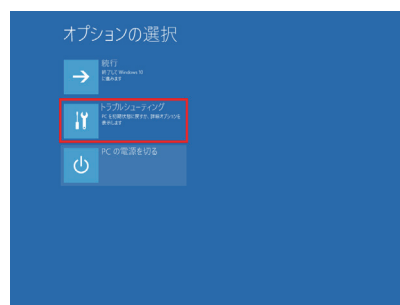
[トラブルシューティング] → [詳細オプション] → [スタートアップ設定] → [再起動] の順にクリックします。

「スタートアップ設定」が表示されます

キーボードの [4] または [F4] キーを押し、「4) セーフモードを有効にする」を選択します。セーフモードで起動します。

ワンポイント

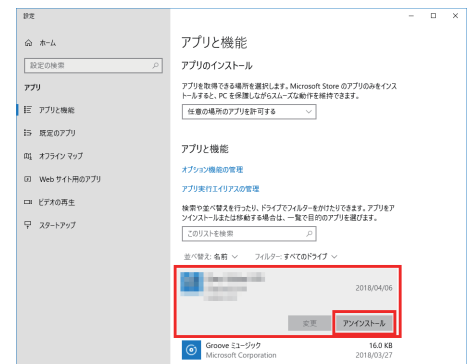
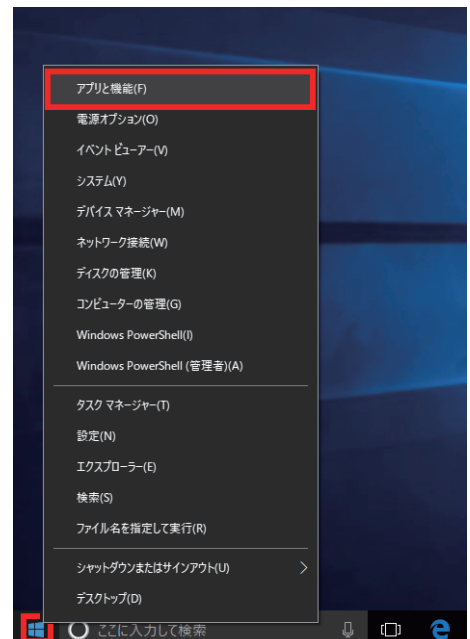
セーフモードは不具合発生時の診断用の起動モードです。不具合が発生し起動できなくなった場合も、このモードでは起動できる場合があります。



■ プログラムのアンインストール (Windows 7 での操作方法を示します)

インストール済みのソフトウェアを管理します。プログラムやアプリケーションなどのソフトウェアをシステムからアンインストール（削除）できます。

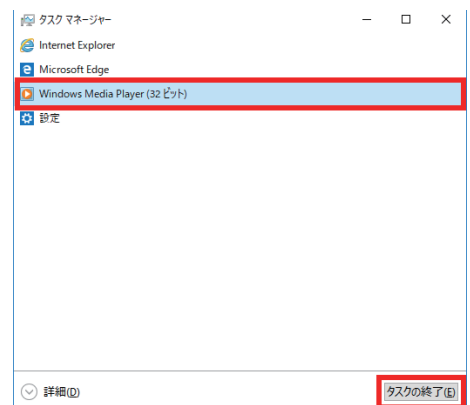
1. 「アプリと機能」を表示させます。
[スタート] を右クリック、クイックアクセスメニューより [アプリと機能 (F)] をクリックします。
2. ソフトウェアをアンインストールします。
削除したいソフトウェアをクリックして選択後、[アンインストール] をクリックします。



■ タスクマネージャー

現在起動されているプログラムの状態を確認したり、プログラムを強制的に終了させることができるソフトウェアです。一部ソフトのフリーズは強制終了することにより、Windows に復帰できる場合があります。

1. 「タスクマネージャー」を表示します。
[Ctrl] + [Shift] + [ESC] を同時に押し、[タスクマネージャー] を起動します。
2. アプリケーションのタスク状態を確認します。
終了させたいアプリをクリックし、[タスクの終了] をクリックすると、強制的に終了させることができます。



パソコンのパーツは規格品なので、基本的にはどんな組み合わせでも動くはずですが、各社趣向を凝らし付加価値をつけて販売している製品もあって、「相性」でうまく動かない時もあります。また「動かない！」と思っていたものが、ちょっとしたミスや見落としが原因の時もあります。

不具合が見つかってメーカーが解決策をウェブサイトで公開しているかもしれません。

ドスパラウェブサイト (<http://www.dospara.co.jp/>) にも耳寄り情報やメーカーのウェブサイトへのリンクを載せていますので、ぜひご覧ください。

インターネット上では、企業や個人がいろんな情報やウラ技をウェブサイトで公開しています。検索サイトで調べてみるのも面白いかもしれません。

自動車などでメンテナンスが必要のように、パソコンにもメンテナンスが必要です。長期間使用していると、内部にホコリがたまってしまう場合があります。そのホコリが不具合・トラブルの原因となりますので、定期的にエアスプレーなどで内部のホコリを取り除くようにしましょう。

なにかを試す時はよく考えてから自分ができる範囲で少しずつ始めましょう。どんどんパソコンの知識を広げ、楽しいパソコンライフを送ってください。

パソコン・パーツ買取のご案内

ドスパラは、新しくパソコンをご購入もしくは、新しいパソコンパーツに組み替えられた場合に、ご不要になったパソコンやパーツの買取を行い、地球資源のリユース（再利用）を促進しております。

全国のドスパラ店頭またはドスパラウェブサイトより買取を実施しております。

詳しくは下記のウェブサイトをご覧ください。



ドスパラ中古買取 ▶ <https://used.dospa.co.jp/>

Diginnosパソコン購入で
ご不要になったパソコンは

**ドスパラに
お売り
ください!!
高額買取します!!**

パソコン
**パソコン
周辺機器**
デジカメ
PCパーツ
携帯電話

詳しくはドスパラ公式通販サイトの **中古販売** タグからドスパラ中古サイトへ



買取案内 タグから買取の方法をご確認いただけます!



日本全国どこからでも通信買取可能!!

全国のドスパラ店頭にて買取実施中!!

サードウェーブは、資源の有効な利用の促進に関する法律（通称：リサイクル法 2001 年 4 月 1 日施行）により、事業系ユーザからのパソコン回収、再資源化の実施がパソコンメーカーに義務づけられたことに対応し、「サードウェーブリサイクルセンター」（旧デジノスリサイクルセンター）を設置いたしました。

事業系（法人、個人事業者などのお客様）を対象として、パソコンの回収・リサイクルに関するご相談に対応するサービスを行っております。

また、リサイクル法の 2003 年 10 月 1 日の改正に基づき、個人（一般）向けパソコンの回収・リサイクルに関するご相談にも対応するサービスを「サードウェーブリサイクルセンター」にて開始いたしました。

PC リサイクルマーク



2003 年 10 月 1 日以降に販売された、個人向け PC リサイクルサービス対象製品の本体には、「PC リサイクルマーク」が貼付してあります。このマークが貼付されている弊社対象製品は弊社にて無償回収および再資源化を実施させていただきます。

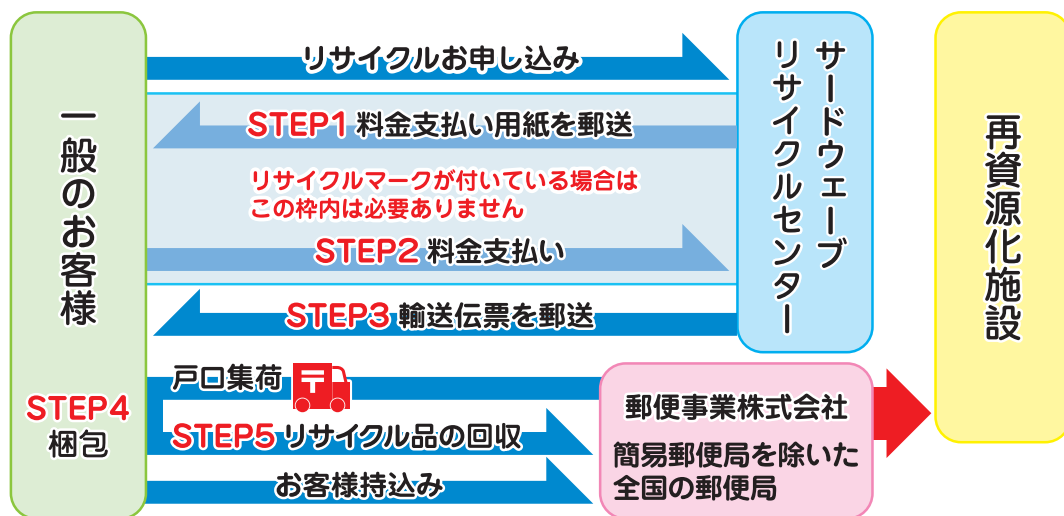
なお、回収は電子情報技術産業協会（JEITA）と郵便事業株式会社が提携し対応を行っております。郵便局へ直接お持ち込みいただくか、自宅戸口での集荷回収のどちらかをお選びいただくことができます。

PC リサイクルサービスのご案内

サードウェーブリサイクルセンターでは、ご家庭で不要になった弊社パソコンの回収リサイクル活動を行っております。詳しくは下記のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.dospara.co.jp/recy>

お申込みから回収までの流れ



回収・リサイクルに関するお問い合わせ

サードウェーブリサイクルセンター

東京 03-4332-9193（PHP・IP 電話もこちらへ）

ナビダイヤル 0570-028-119（電話受付時間 9:00～21:00 年中無休）

PC および HDD などの内蔵記憶装置に保存されているデータについて

パソコンの回収・リサイクルおよびリユースにあたり、以下の点にご注意ください。

お客様がご利用になっていたパソコンに内蔵されている記憶装置には、大切な個人情報や重要なデータが保存されています。このデータの取り扱いに関しましては大変恐れ入りますが、お客様の責任範囲としてデータの消去や別の記憶媒体などへバックアップ、保存を実施いただくことになります。

特に記憶装置（ハードディスク / SSD 等）にマイナンバー（個人番号）記録されたデータがある場合は、お客様責任において消去いただくものとします。万一、当該データが残っていた場合は、速やかに返却させていただきます。

万が一、データの漏洩等が発生した場合につきましても、弊社では責任を負いかねます。

HDD 消去・破壊サービスのご案内

お客様によるデータ保護、漏洩に関して不安がある場合や、確実なデータの破壊もしくは、記憶装置の物理的な破壊による保護をご要望される場合は、弊社にて以下のサービスを提供しておりますのでご利用ください。（有償）

HDD データ消去

アメリカ合衆国国防総省採用のデータ消去方法に準拠した HDD のデータ消去作業を行います。

HDD としての機能は維持されますので、リユースが可能です。

物理破壊

HDD を物理的に破壊し、完全に HDD としてのデータの書き込みおよび読み込みを不可能にします。破壊後は、HDD をパソコンへ接続しても動作しません。

また、破壊された HDD は PC リサイクルサービスの一環として、ご利用になっていたパソコンと一緒にリサイクルすることが可能です。

パソコン保証規約

お客様各位 この度は、お買い上げいただき、誠にありがとうございます。お買い上げいただきました商品の保証の内容は、下記のようになっております。

1. 保証期間について

- ・保証期間は販売店および通販でのご購入日より1年間となります。
- ・製造番号シールが保証書となります。
- ※ 製造番号シールは パソコン本体の裏面、もしくは底面に貼付していますのでご確認ください。
- ※修理完了後の保証につきましては、ご購入の際に付帯する保証期間の満了日、または、修理完了品のお引渡し日から1か月の保証期間を付帯し、いずれかの長い方とします。

2. 初期不良について

初期不良期間は、原則お買い上げ日から1週間以内とします。商品発送の場合は到着後1週間以内とします。初期不良の対応につきましては、お買い上げになられた店舗へお持ち込みいただくか、サードウェーブ修理センター（以下、弊社）へご連絡ください。お預かりのうえ、弊社にて修理対応をさせていただきます。修理に相当日数がかかる場合には、同一商品（新品）と交換をさせていただきます。交換する商品の在庫がない場合には同額以上の別商品と交換させていただきます。別商品と交換の際に差額が生じた場合には、差額分をご負担ください。お預けいただく際にお客様の来店または発送のご都合がつかない場合、お買い上げ日または、商品到着日から1週間以内にお買い上げ店舗またはサードウェーブサポートセンターまでご連絡をお願いします。ご連絡後、初期不良期間を最大1週間延長いたします。なお、Dospa Club Membersのメンバーでメールマガジンを購読いただいている会員の方は、初期不良期間を1か月間に延長させていただいております。Dospa Club Membersのご加入とメールマガジンのご登録をお勧めいたします。（メールマガジンは無料です）

3. 保証免責事項について

- 下記のような場合には、サポートおよび修理交換など、弊社保証の対象とはなりません。
- ・組み合わせや相性によって発生する機器互換性などの原因による症状。（仕様）
 - ・天災、火事および、停電、付属されている電源ケーブルの外部損傷などの外部要因によって故障が発生した場合。
 - ・弊社販売時のサポートOS以外で症状が発生する場合。
 - ・自然消耗、摩耗、劣化（バッテリーの経年劣化、消耗や長期使用によるハードディスクの不良セクタの増加）による場合。
 - ・譲渡などにより所有者の変更があった場合。（オークションや、中古売買などによるご購入を含む）
 - ・焼損痕、外傷がある場合。
 - ・保証書や製品のラベル類が汚損、破損している場合。
 - ・お客様の故意、過失、改造またはお取り扱い方法や、ご使用方法が不適切と判断した場合。

4. 不良発生時にご用意いただくもの

- ・「サードウェーブ修理依頼書」（本書にありますのでご記入のうえ、同梱をお願い致します。コピー可。）
- ・記憶装置（ハードディスク/SSD等）にマイナンバー（個人番号）が記憶されたデータがある場合には、お客様責任において消去いただくものとします。
- ※修理依頼書の同梱がない場合、次に示す三つの事項について同意したとみなします。
- 1、修理作業における障害復旧の為に、記憶装置（ハードディスク/SSD等）に記録されたOSやデータを消去する可能性がありますので、必要なデータについては事前にお客様がバックアップを実施するものとし、弊社はデータ消去によるお客様の損害に対し責任を負わないものとします。
- 2、お客様の責任においてマイナンバー（個人番号）を含むデータの消去が完了していること。万一、当該データが残っていた場合には、修理をせずにお客様へ返却します。
- 3、修理完了後、修理品は速やかにお引取りください。弊社から修理完了の連絡後、3か月を経過してもお引き取りいただけない場合は、処分させていただきます。なお、ご連絡が取れなくなったお客様についても同様といたします。
- ・ご購入時の梱包箱
- ※作業を円滑に行うために、下記の物を同梱くださいますようお願いいたします。
- OSインストールディスク・ドライバーCDなどの付属品。

5. 不良診断・修理に要する期間・修理部品の取り扱い

通常、保証期間中の修理についてはご依頼品をお持ちまたはお送りいただいた後、修理期間は弊社に到着してから、1週間から10日程度となります。原則、店舗へご来店での修理ご依頼の際は、その場での修理・交換対応は応じかねますので、あらかじめご了承ください。海外のメーカー製部品に関しては、その海外部品供給元へ送付し、修理依頼を行うため、初期不良期間経過後の修理のご依頼は、そのメーカーによっては1か月以上の期間をいただく場合がございます。保証期間中の修理において交換した部品の所有権は弊社に帰属します。よって、当該部品をお客様に返却しないものとします。なお、交換した部品は、地球環境の配慮から部品供給元で修理・再調整後、動作検査し新品部品と同等の品質が保証されたものとして再利用する場合があります。

※修理期間中における代替品の貸し出しは行っておりません。

6. 送料、診断料について

検証、修理ご依頼品を発送されときの送料は原則、お客様にてご負担ください。初期不良期間の製品につきましては、最寄りの店舗、または弊社サードウェーブサポートセンターへ事前にご連絡をいただき、検証修理が必要と判断された場合には弊社にて負担いたします（佐川急便のみ）。出荷時の構成と異なる構成に変更されている場合は、初期不良とみなしません。また、輸送中の事故はお客様の責任となりますので、商品が梱包されているダンボール箱などでしっかりと梱包してください。弊社に到着後、検証・修理ご依頼品返却時の送料は原則、弊社にて負担いたします。ただし自損など、自然故障以外のハードウェア不良の場合、返却時の送料はお客様のご負担となり別途診断料もご請求させていただきます。あらかじめご了承ください。

7. 責任制限

- ・弊社の責任の範囲は、上記の修理・交換とし、当該商品のご購入金額を上限とします。逸失利益、ダウンタイム（機能停止期間）、データおよびプログラムの修復などの間接的な損害については、弊社の責任範囲から除外といたします。
- ・修理対応時における記憶媒体（ハードディスク/SSD等）内のデータの保証および対応は一切致しかねます。定期的なバックアップの取得をお勧めいたします。
- ・弊社ではマイナンバー法の定める「個人番号関係事務」/「個人番号利用事務」の委託はお受けいたしかねます。
- ・この保証は日本国内でのご利用においてのみ有効とします。本規約に関する紛争は、特に別段の定めなき場合は、東京簡易裁判所または東京地方裁判所のみをもって第一審の専属管轄裁判所とします。
- ・サービス・保証内容は、予告なく変更される場合がございます。

8. 返品、交換について

弊社では原則、返品対応は一切受け付けておりません。お客様において誤って商品をご購入された場合には、未使用・未開封の状態において、ご購入日から7日以内であればサードウェーブサポートセンター又はご購入店舗へご連絡のうえ、お買い上げ明細書（レシート）、領収書を添えてお持ちいただければ、ほかの同額以上の商品と交換いたします。交換の際に差額が生じた場合には差額分をご負担ください。通信販売でお求めの場合は、差額お振込み時の振込手数料、代引手数料などはお客様にてご負担ください。

9. パソコン保証期間外の修理またはアップグレードなど、有償サポートについて

有償サポートにつきましては、詳しくはお買い上げ店舗、またはサードウェーブサポートセンターにお問い合わせください。

【修理のご依頼について】
Dospaの通販、店舗でお買い上げをいただきました製品の修理のご依頼につきましては弊社サードウェーブサポートセンターへご連絡ください。サードウェーブサポートセンターでハードウェアに障害があるかどうかを確認し、適切な対応を行わせていただきます。

【修理をご依頼された場合】
修理完了後はお客様へ修理が完了した旨のご連絡させていただいておりますので、お早めにお引取りください。修理完了およびお引取のご連絡から3か月を超えてもお預り品のお引取りがなされない場合は、誠に勝手ながら弊社にて処分させていただきますのでご了承ください。

修理依頼書

オンラインによるお困りごと解決メニューをご用意しております
<http://check.diginnos.co.jp/front>

修理依頼品の送付先
 〒252-1123 神奈川県綾瀬市早川 2696-1
 サードウェーブ修理センター
 ドスパラ各店舗へのお持込に関しては、
 弊社ウェブサイト店舗情報をご参照ください。
http://www.dospara.co.jp/5info/cts_shop

修理預かり中の製品に関するお問い合わせは、修理センター営業時間内に
 サードウェーブサポートセンターへご
 連絡ください。
 修理センター営業時間 9:00 - 18:00

お問い合わせ先
 サードウェーブサポートセンター
 東京 03-4332-9193
PHS・IP 電話からもこちらへ
 ナビダイヤル 0570-028-119

注意事項

- パソコンを送付いただく際には、ご購入時の梱包箱を利用し、修理依頼品を梱包送付ください。箱がない場合には安全に輸送するために別途パソコン梱包用の箱をご用意いただき、送付願います。着荷時の梱包箱の状態等により、当社で再利用が困難と判断した場合には、返却時の箱代を請求させていただきます。また、梱包不良による輸送事故および、破損は保証期間内でも有償対象となりますので、あらかじめご了承ください。
- パソコンの保証は、ご購入時の構成であることが原則となります。お客様側で構成の変更をされている場合は弊社保証の対象外となります。送付いただく際には、ご購入時の構成に戻した状態で送付ください。
- 記載内容に不備がある場合は、修理が遅くなることがございます。
- 修理品の送料はお客様負担となります。弊社指定の初期不良期間に限り、通常宅配料金を弊社が負担します(佐川急便)。
- ウィルス感染による不具合やシステム上の不具合など、製品の機械的な故障ではない場合、送料や技術料などの費用が発生する場合があります。

注意事項をご確認の上で必要事項をご記入のうえ、お申し込みください

※のついているところは、ご記入必須事項です。

フリガナ								問い合わせ番号				
※お名前								(T ※※※※または Q ※※※※)				
会社名 / 部署名												
※ご住所 返送先住所を ご記入ください	〒 -											
※ご連絡のつく電話番号	TEL : - -				携帯電話 : - -							

管理者権限のユーザー名：

パスワード：

Windows ログイン時にパスワードの設定がある場合は必ずご記入ください。※ OS 上のエラーログの確認や、検査を行うために必要です。

※不具合内容・症状

- | | | |
|---|---|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> Windows が起動しない | <input type="checkbox"/> 電源のファンは回っているが画面表示がない | <input type="checkbox"/> 電源が落ちる |
| <input type="checkbox"/> 電源が入らない (通電しない) | <input type="checkbox"/> OS は途中で起動する | <input type="checkbox"/> 異音がある |
| <input type="checkbox"/> 画面は出る (BIOS[UEFI] は起動する) | <input type="checkbox"/> 再起動してしまふ | <input type="checkbox"/> 表示がおかしい |
| <input type="checkbox"/> ハングアップする | | |

故障箇所、または試されたこと、故障時の様子や発生頻度など、なるべく詳しくお書きください。

修理にあたっての確認事項 及び 同意書

■ 修理に伴うデータ初期化について

- お願い：修理作業における障害復旧の為に、記憶装置（ハードディスク/SSD 等）に記録された OS やデータを消去する可能性がありますので、必要なデータについては事前にお客様がバックアップを取得ください。データの保護・バックアップ等については、保証対応対象外です。
- ・お客様からお預かりしましたご依頼品において、補助記憶装置や OS の不具合の場合には、その装置の交換対応や OS インストールが伴います。これらの場合はデータが消去となります。あらかじめご了承ください。
 - ・デバイスの暗号化を有効に設定されている場合は、ご依頼前に無効にしてくださいようお願いいたします。

■ マイナンバーの取り扱いについて

- お願い：修理のご依頼をされる前に、お客様の責任においてマイナンバー（個人番号）が記憶されたデータを消去してください。万一、当該データが残っていた場合には、修理をせずにお客様へ返却します。
- ・弊社ではマイナンバー法の定める「個人番号関係事務」/「個人番号利用事務」の委託はお受けいたしません。

■ お預かりしている修理品の保管期間について

- お願い：修理のご依頼をされる前に、お客様の責任において修理完了後 3 ヶ月間とさせていただきます。
- 修理完了後、修理品は速やかにお引取りください。弊社から修理完了の連絡後、3 ヶ月を経過してもお引き取りいただけない場合は、処分させていただきます。なお、ご連絡が取れなくなったお客様についても同様といたします。

※ 確認事項に同意される場合には、日付のご記入、ご署名、ご捺印をお願いいたします。

年 月 日 〈お客様ご署名〉

印

■ お客様の個人情報および個人履歴は、弊社修理サービス及びサポートの提供においてのみ使用されます。また、お客様の同意なしに、上記以外の目的で個人情報および個人履歴を使用することはございません。

■ プライバシーポリシーについては、弊社ホームページをご覧ください。 http://www.dospara.co.jp/5info/cts_privacy

修理依頼方法

修理依頼方法

- ・サードウェーブ製品の修理ご依頼の際は、まずサードウェーブサポートセンターへ問合せください。不具合の内容をお伺いし問い合わせ番号の発行と送付をご案内いたします。ドスパラ各店舗へのお持込みに関しては問合せの時にご申告ください。
 - ・修理依頼書
下記の見本にしたがい修理依頼書へ問い合わせ番号及び必要事項を記載します。
お問い合わせ先：サードウェーブサポートセンター
東京 03-4332-9193 （PHS・IP電話からもこちらへ）
ナビダイヤル 0570-028-119
 - ・固定電話からは全国一律1分/10円、携帯電話からはおよそ1分/20円の通話料金がかかります。
- ※携帯電話の場合、ご契約されている携帯会社により料金が異なる場合がございます。

修理依頼書

オンラインによるお困りごと解決メニューをご用意しております
<http://check.diginnos.co.jp/front>

<p>修理依頼品の送付先 〒252-1123 神奈川県藤沢市早川 2696-1 リードウェア修理センター 東京各店舗へのお申込に関しては、 弊社ウェブサイトお問合わせページをご覧ください。 http://www.dospara.co.jp/ginfo/cts_shop</p>	<p>修理預かり中の製品に関するお問い合わせは、修理センター営業時間内に カードウェアサポートセンターへご連絡ください。 修理センター営業時間 9:00 - 18:00</p>	<p>お問合わせ先 カードウェアサポートセンター 東京 03-4332-9193 PHS 11-4538からでもご利用 ナビダイヤル 0570-028-119</p>
--	---	---

注意事项

- [illegible]

注意事項をご確認の上で必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。

※のついているところは、ご記入必須事項です。

フリガナ	ミナミ タロウ		問い合わせ番号					
※お名前	三波 太郎		(T 故障発生部署または O 故障発生部署)					
会社名 / 部署名			T	×	×	×	×	×
※ご住所 送 送 先 所 ご記入ください	〒 101 - 0021 東京都千代田区外神田 3-11-1							
※ご連絡のつく電話番号	TEL : 03 - 5295 - 3435		携帯電話 : - -					
<p>管理者権限のユーザー名 : パスワード :</p> <p>Windows がログイン時にパスワードの設定がある場合は必ずご記入ください。 ※ OS 上のエラーログの確認や、検査を行うために必要です。</p>								
※不具合内容・症状	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <input checked="" type="checkbox"/> Windows が起動しない <input checked="" type="checkbox"/> 電源が入らない (通電しない) <input checked="" type="checkbox"/> 画面は出る (BIOS/UEFI は起動する) <input type="checkbox"/> ハングアップする </div> <div style="width: 45%;"> <input type="checkbox"/> 電源のファンは回っているが画面表示がない <input type="checkbox"/> OS は途中で起動する <input type="checkbox"/> 再起動してしまふ <input type="checkbox"/> 表示がおかしい </div> </div> <p>故障箇所、または試されたこと、故障時の発生や発生頻度など、なるべく詳しくお書きください。</p>							
<p>起動しなくなりました。 ランプは付きますが画面が映りません。 「パソコントラブル解決手順」の「電源が入らない場合」の 内容を確認しましたが直りませんでした。</p>								
修理にあたっての確認事項 及び 同意書								
<p>■修理を受けるデータ処理について</p> <p>お問い合わせ：修理作業における障害原因のみに、記憶装置（ハードディスク / SSD など）に記録された OS やデータを消去する可能性がありますので、必要なデータについては事前にお客様がバックアップを取得ください。データの保護・バックアップ等については、保証対象外です。</p> <p>※お客様がご預かりのしなご技術品において、補助記憶装置や OS の不具合の場合には、その装置の交換対応や OS インストールが伴います。これらの場合はデータが消去となります。あらかじめご了承ください。</p> <p>※データの暗号化を有効に設定されている場合は、ご依頼前に無断にしないでくださいようお願いいたします。</p>								
<p>■マニパノール（の）取り扱いについて</p> <p>お問い合わせ：修理のご依頼をする前に、お客様の責任においてマニパノール（個人番号）が記憶されたデータを消去してください。万一、当該データが残っていた場合には、修理をせずにお客様へ返却します。</p> <p>※弊社ではマニパノール法の定める「個人番号関係事務」/「個人番号利用事務」の委託をお受けいたしかねます。</p>								
<p>■お預かりしている修理品の保管期間について</p> <p>お預かりしている修理品の保管期間は、修理完了後 3 ヶ月間とさせていただきます。</p> <p>修理完了後、修理品は速やかにお取りください。弊社から修理完了の連絡後、3 ヶ月を経過してもお引き取りいただけない場合は、処分させていただきます。ご、ご連絡が取れなくなったお客様についても同様といたします。</p> <p>※修理事項に同意される場合には、日付のご記入、ご署名、ご捺印をお願いいたします。</p>								
2018 年 4 月 1 日			（お客様ご署名）			三波太郎 印		
<p>■お客様の個人情報および個人履歴は、弊社修理サービス及びサポートの提供においてのみ使用されます。また、お客様の同意なしに、上記以外の目的で個人情報を、弊社個人履歴を使用することにはごさいません。</p> <p>※プライバシーポリシーについては、弊社ホームページをご覧ください。 http://www.dospara.co.jp/5info/cts_privacy</p>								

修理依頼前の確認

修理依頼の前に、[本書63ページ「困ったときは」](#)を確認しましょう。

発送時の注意

- ① 発送について
お持込み以外に送付でも承っております。
修理受付の際の送料はお客様にご負担
いただいておりますので、最寄りの宅配業者
をご利用の上で発送してください。
- ② 同梱物について
- ・修理依頼書
 - ・ドライバーCD、付属品（アダプター・バッ
テリー）など
- ※パソコン保険をお申し込みいただいでい
る場合、保証を受ける際パソコン保険証
書の同梱が必要となります。

ストレージ内データについて

ストレージのデータは保証できません。
ご迷惑をおかけしますがデータは破棄されることを予めご了承ください。

梱包について

- ①梱包箱
ご購入当初の梱包箱で梱包してください。
また、箱がないときはお客様で梱包箱をご用意いただき緩衝材をご利用の上、輸送時に損傷しないよう梱包してください。輸送時の事故はお客様の責任となります。しっかりと梱包して運送保険をお掛けください。
- ②梱包時の注意
アダプターやバッテリーを外した状態で梱包してください。
ディスプレイは非常に繊細な部分です。パソコンと付属品を重ねて梱包しないでください。

配送先

〒252-1123
神奈川県綾瀬市早川2696-1
サードウェーブ修理センター

液晶ディスプレイのドット抜けについて

液晶ディスプレイ (LCD) は、非常に高精度な技術にて製造されておりますが、ごくまれにドット抜け (点灯しない、または常時点灯する画素) が発生することがございます。

これは LCD の仕様であり現在の製造技術では完全に無くすることができません。

本製品は 99.999% 以上の有効表示画素がありますが、0.001% 以下の画素の問題につきましては、正常品となります。

また、この数は自然増減することがございますが、こちらも LCD の仕様によるもので故障や初期不良品ではございません。

ユーザーズマニュアル

著者 / 監修：株式会社サードウェーブ CS 部

発行 / 編集：株式会社サードウェーブ

ご注意

※本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。

※本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。

※本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたらご連絡ください。

※本書の内容に基づく運用結果として発生した損害には、責任を負いかねます。あしからずご了承ください。

商標について

Microsoft、Windows 10、Windows 8.1、Windows 7、Office は米 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel ロゴ、および Intel Inside ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

その他の、会社名、製品名、システム名は各社の商標または登録商標です。



お買い上げいただいたパソコンの

調子が悪い? 壊れた?

と、思われる
症状がでたとき…



お客様の「困った」や「知りたい」にお答えします

故障と思われる症状の中には、パソコン本体の故障ではなく、ソフトウェアや、周辺機器・増設機器に問題が発生している場合もあります。下記の3つ方法で、症状からトラブルの原因を特定し、解決策を紹介します。

お困りごと解決メニュー
から症状を選択

パソコン/スマートフォンから

<http://www.diginnos.co.jp/spt/check>



AIチャットで質問



LINEで質問



お困りごと解決メニューで解決しない場合

FAQ検索 をお試しください!

FAQにはお客様からのよくあるご質問とその改善方法を紹介しています。同症状の改善方法が記載されているかもしれません。「FAQの検索」に症状を入力して【検索】を行ってみてください。



パソコン/スマートフォンから

<http://www.diginnos.co.jp/spt/faq>



お困りごと解決メニューやFAQ記載の方法を試しても改善されないときは

サードウェーブサポートセンター

へお問い合わせ
ください!

Eメール

<http://www.diginnos.co.jp/spt/tecinfo>

電話

東京 03-4332-9193

ナビダイヤル 0570-028-119

・固定電話からは全国一律1分/10円、携帯電話からはおよそ1分/20円の通話料金がかかります。

※携帯電話の場合、ご契約されている携帯会社により料金が異なる場合がございます。

受付時間 9:00~21:00

定休日: 年中無休 (年末年始を除く)



サードウェーブサポート
センターからのお願い

お問い合わせの際は、パソコンの製造番号を事前にご確認願います。
※製造番号のご確認は、本書18ページをご参考ください。

インターネット通販

特価品情報

各店セール情報

サポート情報



<http://www.dospara.co.jp>